

■日時：12月9日（木）9：00～10：10

■会場：第1会場（1階 中ホール・大地）

抗 HIV 療法

座長：奥村直哉(国立病院機構名古屋医療センター)

山元泰之(東京医科大学病院臨床検査医学)

001 服薬援助のための基礎的調査—抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査(2004年)—

小島賢一¹、栗原 健²、乃村万里³、日笠 聡²、堀 成美³、山元泰之⁴

(¹荻窪病院血液科、²関西 HIV 臨床カンファレンス、³HIV/AIDS 看護研究会、⁴東京 HIV 診療ネットワーク)

002 服薬援助のための基礎的調査—抗 HIV 薬の組合せ調査(2004年)—

日笠 聡¹、栗原 健¹、小島賢一²、乃村万里³、堀 成美³、山元泰之²

(¹関西 HIV 臨床カンファレンス、²東京 HIV 診療ネットワーク、³HIV/AIDS 看護研究会)

003 拠点病院における抗 HIV 療法と薬剤関連アンケート調査結果

栗原 健¹、吉野宗宏²、寺門浩之³、佐野俊彦⁴、小島賢一⁵、日笠 聡⁶、白阪琢磨⁷

(¹独立行政法人国立病院機構宇多野病院薬剤科、²独立行政法人国立病院機構大阪医療センター薬剤部、³国立国際医療センター薬剤部、⁴都立駒込病院薬剤科、⁵荻窪病院血液科、⁶兵庫医科大学総合内科、⁷独立行政法人国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科)

004 当センターにおける新規抗 HIV 療法の変遷について

矢崎博久、恩田順子、原田壮平、阿部泰尚、福島篤仁、上田晃弘、横田恭子、田沼順子、本田美和子、瀧永博之、源河いくみ、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、岡 慎一、木村 哲 (7857599)

005 Efavirenz(EFV)を含んだ HAART の長期成績に関する検討

照屋勝治、恩田順子、原田壮平、阿部泰尚、福島篤仁、横田恭子、上田晃弘、田沼順子、矢崎博久、瀧永博之、源河いくみ、本田美和子、立川夏夫、菊池 嘉、岡 慎一、木村 哲

(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

006 NRTI 2 剤による抗ウイルス療法が著効している超高齢者の一例

有馬靖佳

(大阪赤十字病院 血液内科)

007 エイズを発症した HAART 導入困難例に対する抗 HIV 薬単剤投与の試み

古谷野伸

(旭川医科大学小児科)

■日時：12月9日（木）10：10～10：40

■会場：第1会場（1階 中ホール・大地）

薬害エイズ

座長：池谷 健(藤枝市立総合病院 小児科)

008 薬害 HIV 感染患者・家族の生活実態とニーズに関する調査研究—第2報：ヒアリング中間報告—

溝田友里¹、井上洋士²、山崎喜比古¹、清水(丸山)由香³、伊藤美樹子⁴、関由起子⁵、若林子ヒロ⁶、的場智子¹、八巻(木村)知香子¹、大平勝美⁷、花井十伍⁷、早坂典生⁷、小山昇孝⁷

(¹東京大学大学院医学系研究科健康社会学分野、²千葉大学看護学部訪問看護学、³大阪市立大学大学院長寿社会総合科学、⁴大阪大学大学院総合ヘルスプロモーション科学、⁵群馬大学医学部、⁶埼玉県立大学保健医療福祉学部、⁷薬害 HIV 感染被害者(患者・家族)生活実態調査委員会)

009 薬害 HIV 感染患者・家族の生活実態とニーズに関する調査研究 第1報：基本設計と特徴

井上洋士¹、溝田友里²、山崎喜比古²、清水(丸山)由香³、関由起子⁴、若林子ヒロ⁵、的場智子²、八巻(木村)知香子²、伊藤美樹子⁶、大平勝美⁷、花井十伍⁷、早坂典生⁷、小山昇孝⁷

(¹千葉大学看護学部訪問看護学、²東京大学大学院医学系研究科健康社会学、³大阪市立大学大学院生活科学研究科長寿社会総合科学、⁴群馬大学医学部保健学科健康管理学、⁵埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科、⁶大阪大学大学院総合ヘルスプロモーション科学、⁷薬害 HIV 感染被害者(患者・家族)生活実態調査委員会)

010 HIV/HCV 重複感染対策の検討

池田和子¹、大平勝美²、大金美和¹、島田 恵¹、

武田謙治¹、福山由美¹、山田由紀¹、高野 操³、
岡 慎一¹、木村 哲¹

(¹国立国際医療センター/エイズ治療・研究開発センター、²はばたき福祉事業団、³筑波大学大学院)

■日時：12月9日(木) 10:40~11:50

■会場：第1会場(1階 中ホール・大地)

血友病・長期未発症

座長：白幡 聡(産業医科大学小児科)

西田恭治(東京医科大学病院臨床検査医学)

011 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第1報 CD 4 値、HIV-RNA 量と治療の現状と推移

白阪琢磨¹、日笠 聡²、岡 慎一³、川戸美由紀⁴、
吉崎和幸⁵、木村 哲³、福武勝幸⁶、橋本修二⁴
(¹国立病院機構 大阪医療センター HIV/AIDS
先端医療センター、²兵庫医科大学 総合内科血
栓止血老年病科、³国立国際医療センター エイ
ズ治療研究開発センター、⁴藤田保健衛生大学
医学部衛生学、⁵大阪大学 健康体育健康医学
第一部門、⁶東京医科大学 臨床検査医学)

012 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第2報 CD 4 値、HIV-RNA 量と治療の変更との関連性

川戸美由紀¹、橋本修二¹、岡 慎一²、吉崎和幸³、
木村 哲²、福武勝幸⁴、日笠 聡⁵、白阪琢磨⁶
(¹藤田保健衛生大学 医学部衛生学、²国立国際
医療センター病院 エイズ治療研究開発セン
ター、³大阪大学 健康体育健康医学第一部門、
⁴東京医科大学 臨床検査医学、⁵兵庫医科大学
総合内科血栓止血老年病科、⁶国立病院機構大阪
医療センター HIV/AIDS 先端医療開発セン
ター)

013 HIV 感染血友病患者への治療介入不成功例

鈴木祐見子¹、西田恭治²、天野景裕²、鈴木隆史²、
山元泰之²、福武勝幸²
(¹東京医科大学病院看護部、²東京医科大学 臨
床検査医学講座)

014 HIV 感染血友病患者の問題点—アドヒアランス不良な3例を中心に—

高嶋能文¹、奈良妙美¹、西尾信博¹、堀越泰雄¹、
三間屋純一¹、紅林洋子²、鈴木貴也³
(¹静岡県立こども病院血液腫瘍科、²静岡県立こ
ども病院指導相談室、³静岡県立こども病院薬剤

室)

015 HIV 感染患者の人工関節置換術後経過

竹谷英之

(独立行政法人国立病院機構福井病院リハビリ
テーション科)

016 当科における HIV 感染長期未治療未発症血友病患者の検討

酒井道生¹、小野織江²、白幡 聡¹

(¹産業医科大学 医学部 小児科、²北部九州血
友病センター)

017 HIV-1 感染長期未発症者における抗 HIV-1 液性因子の検索

山下篤哉¹、照沼 裕²、とう学文¹、
Muwansa MUNKANTA¹、葛西宏威¹、
高嶋能文³、花房秀次⁴、岡 慎一⁵、酒井道生⁶、
白幡 聡⁶、藤井輝久⁷、石川正明⁸、高橋義博⁹、
池田柁一¹⁰、三浦琢磨¹¹、松田重三¹²、田中勇悦¹³、
山本直樹¹⁴、三間屋純一³、伊藤正彦¹

(¹山梨大学大学院医学工学総合研究部微生物学、
²日本バイオセラピー研究所、³静岡県立こども病
院、⁴荻窪病院、⁵国立国際医療センターエイズ治
療研究センター、⁶産業医科大学、⁷広島大学医学
部、⁸東北大学医学部、⁹大館市立病院、¹⁰佐世保
市立病院、¹¹芳賀赤十字病院、¹²帝京大学医学部、
¹³琉球大学医学部、¹⁴国立感染症研究所エイズ研
究センター)

■日時：12月9日(木) 13:30~14:00

■会場：第1会場(1階 中ホール・大地)

初期感染

座長：内海 眞(高山厚生病院内科)

018 当院における急性 HIV 感染者に対する Structured Treatment Interruptions 優秀

田沼順子、木村 哲、岡 慎一、菊池 嘉、
立川夏夫、照屋勝治、源河いくみ、瀧永博之、
本田美和子、矢崎博久、上田晃弘、横田恭子、
原田壮平、恩田順子、阿部泰尚、福島篤仁
(国立国際医療センターエイズ治療研究開発セン
ター)

019 HIV 脳症合併が疑われた HIV 急性感染の一例

高濱宗一郎、上田千里、森 正彦、谷岡理恵、
長谷川善一、山本善彦、上平朝子、白阪琢磨

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科)

020 当院における初期感染例の検討

長谷川善一、高濱宗一郎、森 正彦、谷岡理恵、山本善彦、上平朝子、上田千里、白阪琢磨
(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター)

■日時：12月9日(木) 9:00~10:10

■会場：第3会場(6階 交流ホール)

ワクチン1

座長：速水正憲(京都大学ウイルス研究所)

侯野哲朗(東京大学大学院医学系研究科微生物学講座)

021 HIV-1 coreceptor に基づいたキメラ環状抗原免疫カニクイザル抗血清による種々の clade 由来の R5 及び X4 HIV-1 への多様な感染阻害

徳永恵一¹、中山大介¹、清永康平¹、三隅将吾¹、高宗暢暁¹、向井隼三郎²、橘 罔臣³、梅田 衛³、柴田英昭³、庄司省三¹
(¹熊大・院・医薬・薬学生化学、²国立感染症研・筑波、³日水製薬)

022 エンハンサー付加プロモーターと転写因子共発現系(ターボプロモーターシステム)を用いた DNA ワクチン免疫原性増強法の開発

武下文彦¹、佐々木津¹、浜島健治¹、島田 勝¹、奥田研爾¹
(¹横浜市立大学医学部分子生体防御学、²国立感染症研究所・生体防御部、³横浜市立大学医学部分子生体防御学、⁴横浜市立大学医学部分子生体防御学、⁵横浜市立大学医学部分子生体防御学)

023 低肝臓毒性アデノ 5/35 キメラウイルスを用いたエイズワクチンの開発

島田 勝、浜島健治、武下文彦、篠田香織、奥田研爾
(横浜市立大学医学部分子生体防御学)

024 非感染性粒子を産生する SHIV フルゲノムプラスミドを用いた DNA ワクチンの坐薬投与による感染防御効果

堀内励生、秋山尚志、伊吹謙太郎、井戸栄治、三浦智行、速水正憲
(京都大学ウイルス研究所 感染症モデル研究セ

ンター 霊長類モデル研究領域)

025 カニクイザルにおける Chemokine receptor CCR 5 の細胞外第二ループ(ECL-2)認識自己抗体誘導と SHIV_{SF162P3} challenge

草場正司¹、中山大介¹、三隅将吾¹、遠藤昌史¹、向井隼三郎²、橘 罔臣³、梅田 衛³、柴田英昭³、高宗暢暁¹、庄司省三¹
(¹熊大院・医薬・薬学生化学、²国立感染症研・筑波、³日水製薬)

026 HIV-1 CRF 01_AE R5 ウイルス V3 配列に起因する抗体回避機構

長縄 聡¹、富田康浩²、横山 勝²、鈴木健之³、白井 輝⁴、上田敦久³、岳野光洋³、武部 豊⁵、加藤佳代子⁵、椎野禎一郎⁵、朽久保修¹、石ヶ坪良明³、北村勝彦¹、佐藤裕徳²
(¹横浜市立大学 医学部 公衆衛生学教室、²国立感染症研究所 遺伝子解析室、³横浜市立大学 医学部 第一内科、⁴横浜市立大学 医学部附属市民総合医療センター感染医療センター、⁵国立感染症研究所 エイズ研究センター)

027 HIV-1 CRF 01_AE R5 ウイルス株 NH 2 に固有の抗体回避機構

富田康浩¹、Wadchara Pumpradit²、Nuanjun Wichukchinda²、Panita Pathipvanich²、Pathom Sawanpanyalert²、草川 茂³、武部 豊³、巽 正志³、田中真理³、横山 勝⁴、有吉紅也³、佐藤裕徳⁵
(¹国立感染症研究所 遺伝子解析室、財団法人エイズ予防財団、²タイ NIH、³国立感染症研究所 エイズ研究センター、⁴国立感染症研究所遺伝子解析室、長崎大学熱帯医学研究所、⁵国立感染症研究所遺伝子解析室)

■日時：12月9日(木) 10:10~11:20

■会場：第3会場(6階 交流ホール)

ワクチン2

座長：保富康宏(三重大学医学部生態防御医学講座)

山本直樹(東京医科歯科大学医学部微生物学教室)

028 リコンビナント DIs ワクチンの皮内接種による粘膜免疫誘導

吉野直人¹、兼清 優²、染谷健二²、松尾和浩²、網 康至³、佐藤成大¹、山本直樹²、本多三男²

(¹岩手医科大学医学部、²国立感染症研究所エイズ研究センター、³国立感染症研究所動物管理室)

029 CTL 誘導ワクチンによりサル免疫不全ウイルス複製制御が認められたサルの長期的解析

川田真幹¹、俣野哲朗²

(¹東京大学大学院医学系研究科内科学専攻生体防御感染症学、²東京大学大学院医学系研究科病因病理学専攻微生物学)

030 「分子内提示法」により惹起される免疫反応の抗原特異性

中村真理子¹、芝 清隆³

(¹東京慈恵会医科大学 微生物学講座第 1、²癌研究会癌研究所蛋白創製研究部、³CREST/JST)

031 CRF 01_AE Gag を組み込んだ BCG/ワクシニア Dis プライムブーストワクチンのサルを用いた実用化研究

泉 泰之¹、網 康至²、松尾和浩³、山本直樹³、本多三男³

(¹国立感染症研究所エイズ研究センター、財団法人エイズ予防財団、²国立感染症研究所動物管理室、³国立感染症研究所エイズ研究センター)

032 各種アジュバントを用いた抗 HIV 抗体産生能の検討

田中慎一¹、大場 孝¹、阪井弘治¹、仲宗根正¹、小島直也²、佐多徹太郎³、山本直樹¹、石川晃一¹

(¹国立感染症研究所エイズ研究センター、²東海大学生命化学科、³国立感染症研究所感染病理部)

033 アポトーシス誘導遺伝子を利用した HIV DNA ワクチンの開発

小島良績、城内 直、篠田香織、武下文彦、島田 勝、浜島健治、奥田研爾

(横浜市立大学医学部分子生体防御学)

034 HIV ワクチンによる免疫誘導能のルシフェラーゼを用いた新たな検討方法

篠田香織、島田 勝、小島良績、城内 直、武下文彦、浜島健治、奥田研爾

(横浜市立大学医学部分子生体防御学)

■日時：12月9日(木) 11:20~12:00

■会場：第3会場(6階 交流ホール)

HIV 感染コファクター

座長：服部俊夫(東北大学大学院医学医学系研究科内科病態学感染病態学)

035 アフリカミドリザル由来 TRIM 5 alpha の HIV-1 感染阻害効果

中山英美、塩田達雄

(大阪大学微生物病研究所 ウイルス感染制御分野)

036 CCR 5 阻害剤の活性発現に関連する CCR 5 の多分子間相互作用の解析

東條 靖、前田賢次、青木宏美、満屋裕明

(熊本大学大学院医学薬学研究部 血液内科学感染免疫診療部)

037 CD 4+ CD 38+ T 細胞サブセットの T トロピック HIV-1 高感受性に関わる宿主因子の検索

小路早苗、岩部幸枝、Jiranan Warachit、李 永剛、李 桂梅、辻祥太郎、生田和良

(阪大・微研・ウイルス免疫分野)

038 HIV-1 との相互作用に関与する GPR 1 の N 末端細胞外領域のアミノ酸配列の解析

清水宣明、田中 淳、園田美奈、大上厚志、星野洪郎

(群馬大学大学院医学系研究科分子予防医学)

■日時：12月9日(木) 13:30~14:40

■会場：第3会場(6階 交流ホール)

肝炎・肝移植

座長：小池和彦(東京大学医学部感染症内科)
花房秀次(荻窪病院血液科)

039 HIV/HCV 重複感染の血友病患者における生体肝移植例

藤井輝久¹、畝井浩子²、河部康子³、高田 昇³、木村昭郎⁴

(¹広島大学病院輸血部、²広島大学病院薬学部、³広島大学病院エイズ医療対策室、⁴広島大学原爆放射能医科学研究所血液内科)

040 HIV および HCV 重複感染血液凝固異常症の C 型肝炎に対するインターフェロンの治療効果につ

いて寄与する要因

瀧 正志¹、立浪 忍²、三間屋純一³、白幡 聡⁴、
桑原理恵⁵、浅原美恵子¹、大井千愛¹、山田兼雄⁶
(¹聖マリアンナ医科大学小児科、²聖マリアンナ
医大医学統計学、³静岡県立こども病院、⁴産業医
科大学小児科、⁵聖マリアンナ医大大学院附属
研究施設、⁶エイズ予防財団)

041 HIV 感染血液凝固異常症における肝疾患の病期 と年齢分布について

立浪 忍¹、瀧 正志²、三間屋純一³、白幡 聡⁴、
桑原理恵⁵、浅原美恵子²、山田兼雄⁶
(¹聖マリアンナ医科大学医学統計、²聖マリアン
ナ医科大学小児科、³静岡県立こども病院血液腫
瘍科、⁴産業医科大学小児科、⁵聖マリアンナ医科
大学アイソトープ研究施設、⁶(財)エイズ予防
財団)

042 ロピナビル/リトナビル(カレトラ)の併用によ りタクロリムス血中濃度上昇を来した肝移植例

藤田啓子¹、畝井浩子¹、富田隆志¹、高田 昇²、
木村昭郎²、木平健治¹
(¹広島大学病院薬剤部、²広島大学病院エイズ医
療対策室)

043 HIV-1 感染患者における G 型肝炎ウイルス (GBV-C)重複感染の影響

服部純子¹、内山雅宇²、加藤 稔²、濱口元洋¹、
西山幸廣³、金田次弘¹
(¹名古屋医療センター臨床研究センター、名古
屋大学医学部、²名古屋医療センター研究検査科、
³名古屋大学医学部)

044 HAART 開始後に劇症肝炎を発症し死亡した HBV/HIV 重複感染の一例

上平朝子¹、谷岡理恵¹、上田千里¹、森 正彦¹、
高濱宗一郎¹、長谷川善一¹、山本善彦¹、
下司有加²、織田幸子²、白阪琢磨¹
(¹国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科、
²国立病院機構大阪医療センター看護部)

045 HIV/HBV 重感染と多剤併用療法について

中村仁美¹、佐藤末光¹、後藤美江子¹、遠藤宗臣¹、
藤井 毅²、小田原隆¹、中村哲也²、岩本愛吉¹
(¹東京大学医科学研究所先端医療研究センター
感染症分野、²東京大学医科学研究所付属病院
感染免疫内科)

■日時：12月9日(木)9:00~9:30

■会場：第4会場(10階 会議室 1001-1)

日和見感染

座長：吉田康秀(沼津市立病院呼吸器科)

046 免疫再構築症候群の発症状況調査について

善本英一郎¹、古西 満¹、宇野健司¹、笠原 敬¹、
高橋 賢¹、三笠桂一¹、源河いくみ²、中村哲也³、
安岡 彰⁴
(¹奈良県立医科大学感染症センター、²国立国際
医療センターエイズ治療・研究開発センター、³
東京大学医科学研究所感染免疫内科、⁴富山医科
薬科大学医学部感染予防医学)

047 入院経過中にリング状造影効果を生 じた AIDS 3 例の臨床的検討

堀場昌英
(国立病院機構 東埼玉病院 内科)

048 多房空洞形成を伴う多発結節性病変を呈した二 ユーモシスティス肺炎の一例

藤井 毅、遠藤宗臣、中村仁美、小田原隆、
中村哲也、岩本愛吉
(東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科)

■日時：12月9日(木)9:30~10:10

■会場：第4会場(10階 会議室 1001-1)

副作用 1

座長：高嶋能文(静岡県立こども病院血液腫瘍科)

049 HAART による高脂血症にフェノフィブラート が著効した 1 例

三浦琢磨、葛西俊二、小池順子、関沢真人、
矢島悟子、飯沼裕子
(芳賀赤十字病院)

050 HIV 感染者での脈波速度測定による動脈硬化の 評価

古西 満、善本英一郎、高橋 賢、笠原 敬、
宇野健司、三笠桂一
(奈良県立医科大学感染症センター)

051 HAART 開始後、心筋梗塞を発症した 4 例

竹下 望、根岸昌功、味澤 篤、今村顕史、
菅沼明彦
(東京都立駒込病院感染症科)

052 d 4 T、3 TC 長期投与患者に出現したバッファローハンブの4例

加藤宏基、守谷研二、天野景裕、尾形享一、山元泰之、福武勝幸
(東京医科大学病院臨床検査医学科)

■日時：12月9日(木) 10:10~11:00

■会場：第4会場(10階 会議室 1001-1)

副作用2

座長：安岡 彰(富山医科薬科大学感染予防医学/感染症治療部)

053 抗 HIV 薬による様々な副作用を呈し、多剤耐性を獲得した HIV 感染血友病患者の1例

奈良妙美¹、西尾信博¹、高嶋能文¹、堀越泰雄¹、三間屋純一¹、杉浦 互²
(¹静岡県立こども病院 血液腫瘍科、²国立感染症研究所エイズ研究センター)

054 外来通院中の HIV 陽性者(PLWHA)のうつ病の有病率

三橋和則、山口正純、内藤俊夫、小川尊資、松塚貴美子、久保健太郎、坂本直治、福田友紀子、大嶋弘子、武田直人、福田 洋、磯沼 弘、渡邊一功、伊藤澄信、檀原 高、林田康男
(順天堂大学医学部総合診療科)

055 当院にて経験した乳酸アシドーシスの一例

坂部茂俊、辻 幸太
(山田赤十字病院内科)

056 IFN + rivabirin 併用療法開始後に発症した乳酸アシドーシスを契機に致死的肝不全を来した HIV/HCV co-infection の血友病 A の1症例

藤澤文絵¹、橋野 聡¹、渡部恵子²、大野稔子²、曾我部進¹、近藤 健¹、髭 修平¹、浅香正博¹
(¹北海道大学 医学部 第三内科、²北海道大学病院 外来ナースセンター 相談室)

057 抗 HIV 療法後の代謝異常に関連する副作用の実態

伊藤俊広¹、佐藤 功¹
(¹独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 内科、²独立行政法人国立病院機構仙台医療センター)

■日時：12月9日(木) 11:00~12:00

■会場：第4会場(10階 会議室 1001-1)

母子感染

座長：井村総一(東京都立大塚病院)

前田 眞(県西部浜松医療センター産婦人科)

058 妊婦 HIV 抗体スクリーニングの費用に関する調査～公費負担に関する実態調査

和田裕一¹、吉野直人²、稲葉淳一²、蓮尾泰之²、林 公一²、早川 智²、喜多恒和²、塚原優己²、外川正生²、戸谷良造²、谷口晴記²、鈴木智子²、稲葉憲之²

(¹国立病院機構仙台医療センター産婦人科、²平成16年度厚生労働科学研究費補助金「HIV 感染妊婦の早期診断と治療及び母子感染予防に関する臨床的・疫学的研究」班 分担研究「妊婦 HIV 抗体検査実施率の全国調査と検査普及のための啓発に関する研究」班)

059 全国小児科調査にみるわが国の HIV 母子感染の実態について

外川正生¹、大場 悟²、葛西健郎²、國方徹也²、吉野直人²、井村総一²、戸谷良造²、喜多恒和²、和田裕一²、塚原優己²、稲葉憲之²

(¹大阪市立総合医療センター小児内科、²平成16年度厚生労働科学研究費補助金「HIV 感染妊婦の早期診断と治療及び母子感染予防に関する臨床的・疫学的研究」班、分担研究「HIV 感染妊婦より出生した児の実態調査とその解析」班)

060 本邦の HIV 感染妊婦出産例における HIV 母子感染予防未実施妊婦の臨床的背景に関する検討

林 公一¹、戸谷良造²、喜多恒和²、塚原優己²、吉野直人²、外川正生²、和田裕一²、谷口晴記²、蓮尾泰之²、稲葉憲之²

(¹関門医療センター、²平成16年度厚生労働科学研究費補助金「HIV 感染妊婦の早期診断と治療及び母子感染予防に関する臨床的・疫学的研究」班)

061 妊娠中の抗 HIV 薬投与による血中ウィルス量の変動と母子感染

喜多恒和¹、吉野直人²、和田裕一²、外川正生²、塚原優己²、箕浦茂樹²、高野政志²、北村勝彦²、谷口晴記²、戸谷良造²、稲葉憲之²

(¹防衛医科大学校産婦人科、²平成16年度厚生

労働科学研究費補助金「HIV 感染妊婦の早期診断と治療及び母子感染予防に関する臨床的・疫学的研究」班)

062 当院でフォローアップしている HIV 母子感染児 7 症例について

早川依里子¹、山中ひかる²、清水裕子¹、野崎威功真¹、山中純子¹、國方徹也¹、福山由美²、池田和子²、照屋勝治²、立川夏夫²、菊池 嘉²、岡 慎一²、木村 哲²

(¹国立国際医療センター小児科、²国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター)

063 実地臨床に即した HIV 母子感染予防対策マニュアルの改訂

谷口晴記¹、塚原優己²、源河いくみ²、山田里佳²、大金美和²、嶋 貴子²、川戸美由紀²、外川正生²、和田裕一²、喜多恒和²、戸谷良造²、稲葉憲之²

(¹三重県立総合医療センター産婦人科、²平成 16 年度厚生労働省科学研究費補助金「HIV 感染妊婦の早期診断と治療および母子感染予防に関する臨床的・疫学的研究」班、分担研究「わが国独自の HIV 母子感染予防対策マニュアルの作成・改訂に関わる検討」班)

■日時：12 月 9 日 (木) 9:00~9:50

■会場：第 5 会場 (10 階 会議室 1001-2)

カウンセリング 1

座長：紅林洋子 (静岡県立こども病院指導相談室)
山中京子 (大阪府立大学社会福祉学部)

064 先端医療の心のケアに従事する臨床心理士の実態調査—HIV 医療を中心に—

兒玉憲一¹、内野悌司²、奥田剛士¹

(¹広島大学大学院教育学研究科心理学講座、²広島大学保健管理センター)

065 広大病院 HIV 医療チーム内のカウンセラーの役割 ~感染者—医療者間のコミュニケーションの改善に向けて~

喜花伸子^{1,7}、大江昌恵¹、河部康子^{1,7}、畝井浩子²、藤井輝久³、内野悌司⁴、兒玉憲一⁵、高田 昇¹、木村昭郎⁶

(¹広島大学病院エイズ医療対策室、²広島大学病院薬剤部、³広島大学病院輸血部、⁴広島大学保健管理センター、⁵広島大学大学院教育学研究科、⁶広島大学原爆放射線医学研究所、⁷財団法人工

イズ予防財団リサーチレジデント)

066 PML 患者と家族—重篤な中枢神経障害を持つ HIV 感染症患者の介護者の心理—

安尾利彦¹、織田幸子²、下司有加²、上田千里²、上平朝子²、白阪琢磨²

(¹国立大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター/財団法人エイズ予防財団、²国立大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター)

067 心理カウンセリングへの心理検査導入に関する一考察—HIV 感染症者の事例を通して—

牧野麻由子¹、塚田弘樹²、西堀武明²、今井敦子³、内山正子³、下条文武²

(¹新潟県福祉保健部健康対策課、²新潟大学医学部第二内科、³新潟大学医歯学総合病院感染管理部)

068 HIV 感染による死の希求から感染者としての生の継続希求への変化

菊池恵美子¹、濱口元洋²

(¹国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター・財団法人エイズ予防財団、²国立病院機構 名古屋医療センター 血液内科)

■日時：12 月 9 日 (木) 9:50~10:20

■会場：第 5 会場 (10 階 会議室 1001-2)

カウンセリング 2

座長：岩間真人 (静岡県熱海健康福祉センター)

069 フリーダイヤルによる 36 時間 AIDS 電話相談の結果と利便性

塩入康史¹、五島真理為¹、今井文一郎¹、高橋礼子¹、大坂英治²、小比類巻恵美子³、吉原則子⁴

(¹特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター、²WITH-HIV/AIDS との共生を目指す市民の会、³東北 HIV コミュニケーションズ、⁴HIV かごしま情報局)

070 派遣カウンセリングの利用促進に関する研究

神谷昌枝¹、石川雅子²、折井佳穂里¹、福井小紀子³

(¹東京都福祉保健局健康安全室感染症対策課エイズ対策係、²千葉県健康福祉部健康増進課感染症対策室、³東京都立保健科学大学保健科学部看

護学科)

071 東京都専門相談員の相談活動に対する医師の意識調査

神谷昌枝¹、白木きよみ¹、谷津洋子²、吉田幸子¹、内野ナンティヤー¹、吉田容子¹、高田知恵子¹、折井佳穂里¹、前田秀雄¹

(¹東京都福祉保健局健康安全室感染症対策課エイズ対策係、²東京都多摩立川保健所)

■日時：12月9日(木) 10:20~11:20

■会場：第5会場(10階 会議室 1001-2)

看護支援

座長：野々山未希子(筑波大学大学院人間総合科学研究科(看護科学系))

橋口桂子(国立病院機構名古屋医療センター看護部)

072 HIV 感染症患者がかかえている現状と精神的支援の難しさ

村上順子、小林 恵、渡辺美香
(東京大学医科学研究所付属病院)

073 抗 HIV 治療の開始にあたって精神症状が出現し支援の必要となった事例～5 症例を通して～

甲斐智恵子¹、鍛代麻紀¹、山下美代子¹、池田すみ子¹、関根祐介²、鈴木亜希子²、明石貴雄²、内田泰斗³、福武勝幸³
(¹東京医科大学病院 看護部、²東京医科大学病院 薬剤部、³東京医科大学病院 臨床検査医学科)

074 当センターにカリニ肺炎で入院した患者の背景と支援課題

山田由紀、佐藤孝枝、福山由美、武田謙治、中野恵美子、大金美和、池田和子、島田 恵、小野瀬友子、岡 慎一、木村 哲
(国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

075 患者の自立した在宅療養が可能となった 2 症例

下司有加、織田幸子、加藤ひとみ、丸山千登、北野千代美、西村輝明、森 正彦、谷岡理恵、白阪琢磨
(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター)

076 HIV/AIDS 患者をサポートする家族のストレス

への対処

桑田加奈子¹、吉田恭子¹、早坂美樹¹、小野瀬友子¹、武田明子²、飯野京子³

(¹国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター、²国立がんセンター中央病院、³国立看護大学校)

077 地方における HIV/AIDS 在宅療養支援に関する考察～HIV 脳症患者の取り組みから～

高須賀紀子¹、林 良美²、門屋加代²、辻 好美²、源 陽子³、安藤真知子⁴、井門敬子⁵、高田清式⁶
(¹松山赤十字病院地域医療支援課、²松山赤十字病院看護部、³松山赤十字病院内科、⁴東松山訪問看護ステーション、⁵愛媛大学医学部附属病院薬剤部、⁶愛媛大学医学部附属病院第 1 内科)

■日時：12月9日(木) 11:20~12:00

■会場：第5会場(10階 会議室 1001-2)

看護・研修会報告

座長：山下郁江(石川県立中央病院)

078 当院が行う HIV/AIDS 実務者研修の効果 ～近畿管内拠点病院の受講者への追跡調査より～

浅野智子、下司有加、森川瑞穂、長尾奈穂、国清直美、北野千代美、奥野明美、笹山久美代
(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター看護部)

079 中四国拠点病院における看護師対象の研修会の評価と今後の課題

河部康子^{1,8}、大江昌恵^{1,8}、喜花伸子^{1,8}、木下一枝²、望月陵子³、磯亀裕子⁴、州濱扶弥⁵、藤井宝恵⁶、高田 昇¹、木村昭郎⁷
(¹広島大学病院 エイズ医療対策室、²広島大学病院 看護部、³広島市立広島市民病院、⁴県立広島病院、⁵日本赤十字広島看護大学、⁶広島大学大学院保健学研究科、⁷広島大学病院 原爆放射線医科学研究所、⁸財団法人 エイズ予防財団リサーチレジデント)

080 HIV 拠点病院における看護教育の課題について(病棟での意識調査から)

藤代洋子¹、川又 純¹、柏 春枝¹、古渡孝枝¹、澁澤和枝¹、高橋一郎²、大石 毅²、佐々木昭仁²、福江英尚²
(¹東京医科大学 霞ヶ浦病院 感染症病棟、²東京医科大学 霞ヶ浦病院 感染症科)

081 感染症専門外来看護教育研修を通じた北陸ブロック拠点病院間の連携について

山下郁江¹、山田三枝子³、川本直子²、東 啓子¹、中野久美子¹、登谷美知子¹、笹倉洋子¹、正兼亜季³、下川千賀子²、安田明子²、能島初美²、山下美津江²、脇水玲子²、宮下裕江²、辻 典子³、前川実生²、西出節子¹、上田幹夫²

(¹石川県立中央病院看護部、²石川県立中央病院 HIV 診療チーム、³財団法人エイズ予防財団 (石川県立中央病院 HIV 診療チーム))

■日時：12月9日(木) 9:00~10:00

■会場：第6会場(9階 会議室 910)

薬剤耐性 1

座長：金田次弘 (国立病院機構名古屋医療センター・臨床研究センター)

西澤雅子 (国立感染症研究所エイズ研究センター)

082 本邦における薬剤耐性 HIV-1 の動向と変遷に関する考察

松田昌和¹、Yan Hua²、植田知幸¹、Urvi Parikh³、柿澤淳子²、西澤雅子²、浜武牧子²、藤野真之²、三浦秀佳²、Lay Myint²、山本直樹²、杉浦 互²

(¹国立感染症研究所エイズ研究センター、財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント、²国立感染症研究所エイズ研究センター、³国立感染症研究所エイズ研究センター、University of Pittsburgh Graduate School of Public Health)

083 プロテアーゼ阻害剤耐性変異と Gag 基質領域の相互干渉に関する解析

植田知幸、有吉紅也、三浦秀佳、松田昌和、千葉智子、巖 馬華、Myint Lay、柿澤淳子、濱武牧子、西澤雅子

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

084 CCR 5、CXCR 4 両コレセプター発現細胞における R 5 X 4 HIV-1 の CXCR 4 アンタゴニスト感受性は V 3 領域の単一アミノ酸によって決定される

前田洋助、遊佐敬介、原田信志

(熊本大学大学院医学薬学研究部感染防御学分野)

085 HAART 治療下の HIV *pol* 遺伝子の宿主内進化と薬剤耐性予測

任 鳳蓉¹、松田昌和²、長谷川直紀¹、杉浦 互²、田中 博¹

(¹東京医科歯科大学難治疾患研究所生命情報学、²国立感染症研究所エイズ研究センター)

086 計算科学の HIV-1 研究への適用に関する基礎研究

横山 勝¹、木ノ本正信²、徳永研三²、佐多徹太郎²、長縄 聡³、北村勝彦³、蜂谷敦子⁴、岡 慎一⁴、服部知秀⁵、田中真理⁶、横幕能行⁷、有吉紅也⁶、星野忠次⁵、仲宗根正⁶、佐藤裕徳¹

(¹国立感染症研究所遺伝子解析室、長崎大学熱帯医学研究所、²国立感染症研究所感染病理部、³横浜市立大学医学部、⁴国立国際医療センター、⁵千葉大学大学院薬学研究院、⁶国立感染症研究所エイズ研究センター、⁷千葉大学医学部附属病院)

087 新規臨床分離株の抗 HIV 薬に対する累積百分率

蜂谷敦子、湯永博之、根岸ふじ江、木村 哲、岡 慎一

(国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター)

■日時：12月9日(木) 10:00~10:50

■会場：第6会場(9階 会議室 910)

薬剤耐性 2

座長：杉浦 互 (国立感染症研究所エイズ研究センター第2研究グループ)

088 未治療患者由来プロテアーゼ阻害剤耐性 HIV-1 の増殖能解析

伊部史朗¹、澤木 香¹、森下高行²、佐藤克彦²、金田次弘¹

(¹国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター、²愛知県衛生研究所微生物部)

089 感染者由来 HIV-1 プロテアーゼライブラリーをもちいた薬剤耐性関連変異の予測

遊佐敬介、前田洋助、原田信志

(熊本大学大学院・医学薬学研究部・感染防御学分野)

090 未治療患者に検出された薬剤耐性 HIV-1 の gag 遺伝子領域内アミノ酸変異の解析

澤木 香、伊部史朗、金田次弘

(国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター)

091 未治療 HIV-1 感染者に検出された V 108 I 変異の NVP 耐性獲得に対する影響

森 治代、小島洋子、川畑拓也、大竹 徹
(大阪府立公衆衛生研究所ウイルス課)

092 臨床応用に向けたコンピュータによるエイズ治療薬の適性予測

太田雅美¹、簾 貴士²、大出裕高¹、畑 晶之³、佐藤武幸⁴、横幕能行⁴、布施 晃⁵、杉浦 互⁶、星野忠次³
(¹千葉大学大学院医学薬学府、²千葉大学薬学部、³千葉大学大学院薬学研究院、⁴千葉大学医学部附属病院感染症管理治療部、⁵国立感染症研究所血液安全性研究部、⁶国立感染症研究所エイズ研究センター)

■日時：12月9日(木) 10:50~11:40

■会場：第6会場(9階 会議室 910)

服薬アドヒアランス

座長：日笠 聡(兵庫医科大学総合内科血栓止血老年病科)

093 服薬援助を行っての考察 ~薬剤師の視点から~

鈴木貴也
(静岡県立こども病院)

094 三重県立総合医療センターにおける服薬支援体制

森 尚義¹、谷口晴記²、菅原 望³、倉田みち子⁴
(¹三重県立総合医療センター薬剤部、²三重県立総合医療センター産婦人科、³三重県立総合医療センター内科、⁴三重県立総合医療センター看護部)

095 当院における抗 HIV 薬の服薬確認について

大石 優¹、池谷 健²
(¹藤枝市立総合病院 薬局、²藤枝市立総合病院 小児科)

096 小児に対する抗レトロウイルス療法~服薬支援業務一例報告~

永井聡子¹、吉野宗宏¹、織田幸子²、多和昭雄³、上平朝子⁴、白阪琢磨⁴
(¹独立行政法人国立病院機構大阪医療センター薬剤科、²独立行政法人国立病院機構大阪医療セ

ンター看護部、³独立行政法人国立病院機構大阪医療センター小児科、⁴独立行政法人国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科)

097 題名：当センターにおける服薬状況と療養継続支援の検討

福山由美、山田由紀、武田謙治、中野恵美子、大金美和、池田和子、島田 恵、岡 慎一、木村 哲
(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

■日時：12月9日(木) 9:00~9:40

■会場：第7会場(9階 会議室 904)

医療体制 1

座長：平野友子(静岡県立こども病院看護部)

098 医療連携による HIV/AIDS 患者の療養継続支援の検討：その1 エイズ治療・研究開発センター新規受診患者の受診経路と転帰

武田謙治、渡辺 恵、池田和子、大金美和、福山由美、山田由紀、中野恵美子、岡 慎一、木村 哲
(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

099 エイズ拠点病院首都圏強化策における3日間(出張)研修の評価

中村直子¹、堀場昌英¹、木村 哲²、岡 慎一²、照屋勝治²、島田 恵²、池田和子²
(¹独立行政法人 国立病院機構 東埼玉病院、²国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

100 医療連携による HIV/AIDS 患者の療養継続支援の検討：その2 HIV/AIDS 病診連携モデル事業

島田 恵、武田謙治、福山由美、山田由紀、大金美和、池田和子、岡 慎一、木村 哲
(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター)

101 エイズ拠点病院体制における看護連携推進のための「施設間情報提供シート」活用の検討

菅原美花¹、大野稔子²、渡部恵子²、内山正子³、今井敦子³、山田三枝子⁴、山下郁江⁴、奥村かおる⁵、三治治美⁵、下司有加⁶、織田幸子⁶、河部康子⁷、古川直美⁸、城崎真弓⁸、大金美和⁸、

池田和子⁸、島田 恵⁹

(¹独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター、²北海道大学病院、³新潟大学医歯学総合病院、⁴石川県立中央病院、⁵独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター、⁶独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター、⁷広島大学病院、⁸独立行政法人国立病院機構 九州医療センター、⁹国立国際医療センター)

■日時：12月9日（木）9：40～10：30

■会場：第7会場（9階 会議室 904）

医療体制 2

座長：今村顕史（東京都立駒込病院感染症科）

102 エイズ終末期患者に対する緩和ケア病棟でのケア経験から見出された問題点

神戸敏行、中村 朗

（総合病院国保旭中央病院内科）

103 佐久総合病院における HIV/AIDS 診療の現状

具 芳明、岡田邦彦

（佐久総合病院総合診療科）

104 当院における院外処方箋発行の取り組みと課題

吉野宗宏¹、永井聡子¹、栗原 健²、織田幸子³、白阪琢磨⁴

（独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤科、²独立行政法人 国立病院機構 宇多野病院 薬剤科、³独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 看護部、⁴独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 免疫感染症科）

105 初回治療時における薬剤師の薬剤選択への関与

野毛一郎、吉田康秀

（沼津市立病院薬剤部）

106 亡くなられた患者さんを「語る会」の試み～医療スタッフのモーニングワークと患者さん理解への一助として～

紅林洋子¹、土居泰子¹、鈴木貴也¹、山崎あけみ²、塚本道子¹、松浦芳子¹、加藤光剛¹、奈良妙美¹、西尾信博¹、高嶋能文¹、堀越泰雄¹、三間屋純一¹

（静岡県立こども病院・院内エイズ臨床カンファレンスチーム、²静岡県立総合病院臨床検査科）

■日時：12月9日（木）10：30～11：30

■会場：第7会場（9階 会議室 904）

医療体制 3

座長：島田 恵（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

照屋勝治（国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

107 近畿における HIV 医療体制の評価と今後の課題

若生治友¹、上平朝子²、古金秀樹¹、織田幸子³、照屋勝治⁴、安尾利彦¹、白阪琢磨²

（国立病院機構大阪医療センター臨床研究部、財団法人エイズ予防財団、²国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科、³国立病院機構大阪医療センター看護部、⁴国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター）

108 石川県の病院・診療所における HIV 検査の実施と初期対応

山川朋子¹、木村和子¹、辻 典子²、上田幹夫²

（¹金沢大学大学院自然科学研究科、²石川県立中央病院血液免疫内科）

109 地域病院での HIV に関するすべての医療の提供を目指して一院内各診療科との診療連携の実際一

池谷 健¹、大石 優²

（藤枝市立総合病院 総合内科、²藤枝市立総合病院 薬局）

110 地域病院での HIV に関するすべての医療の提供を目指して一院外の医療機関との診療連携の実状一

池谷 健¹、大石 優²

（藤枝市立総合病院 総合内科、²藤枝市立総合病院 薬局）

111 いま HIV 診療の現場で求められているものは何か？ 一岡山県下エイズ拠点病院の医療提供者に対するアンケート調査の結果一

山田 治¹、三宅晴美²、高田眞治³、和田秀穂²、藤原充弘⁴、福田俊一⁵、戸部和夫⁶、中瀬克己⁷

（¹山口大学医学部保健学科、²川崎医科大学附属病院、³岡山済生会総合病院内科、⁴倉敷中央病院小児科、⁵独立行政法人国立病院機構岡山医療センター内科、⁶岡山大学保健環境センター、⁷岡山市保健所）

112 HIV 診療サテライトクリニックの必要性と現状

について

山中 晃¹、周 明志¹、大瀧 学¹、山元泰之¹、
福武勝幸¹、鈴木祐見子²、金子 恵³
(¹東京医科大学臨床検査医学科、²東京医科大学
看護部、³クリニック)

■日時：12月10日(金) 9:00~10:00

■会場：第1会場(1階 中ホール・大地)

性行動調査 1

座長：五島真理為(特定非営利活動法人 HIVと
人権・情報センター)

矢永由里子(前国立病院機構九州医療セ
ンター/九州大学)

113 北海道民の性に関するインターネット調査(1)： 若者の性行動に関する意識について

廣岡憲造¹、間島勇三²、ランベッリ律恵²、
前川 勲³、玉城英彦²、大坂英治³、大久保洋子³、
吉澤弘道³

(¹旭川医科大学医学部医学科健康科学講座、²北
海道大学大学院医学研究科老年保健医学分野、
³WITH-HIV/AIDSとの共生を目指す市民の会)

114 北海道民の性に関するインターネット調査(2)： 性教育とジェンダータイプ

間島勇三¹、廣岡憲造²、前川 勲³、
ランベッリ律恵¹、大坂英治³、大久保洋子³、
吉澤弘道³、玉城英彦¹

(¹北海道大学大学院 医学研究科 老年保健医
学研究室、²旭川医科大学 医学部医学科 健康
科学講座、³WITH-HIV/AIDSとの共生を目指す
市民の会)

115 インターネット利用 MSM の HIV 予防行動と心 理・社会的要因に関する研究(SPIRITS@Wave 2)—第1報—HIV/STI知識と性行動、HIV抗体 検査受検行動に関する研究

日高庸晴¹、市川誠一²、古谷野淳子³、浦尾充子⁴、
安尾利彦⁵、木村博和⁶、木原正博¹

(¹京都大学大学院医学研究科社会疫学、²名古屋
市立大学大学院看護学研究科感染予防学、³大阪
府健康福祉部、⁴千葉大学医学部附属病院カウ
ンセリング室、⁵国立大阪医療センター HIV・AIDS
先端医療開発センター/財団法人エイズ予防財
団、⁶横浜市立大学医学部公衆衛生学)

116 インターネット利用 MSM の HIV 予防行動と心 理・社会的要因に関する研究(SPIRITS@Wave 2)—第2報—HIV 予防行動と心理的要因の関連

日高庸晴¹、古谷野淳子²、浦尾充子³、安尾利彦⁴、
木村博和⁵、市川誠一⁶、木原正博¹

(¹京都大学大学院医学研究科社会疫学、²大阪府
健康福祉部、³千葉大学医学部附属病院カウ
ンセリング室、⁴国立大阪医療センター HIV・AIDS
先端医療開発センター/財団法人エイズ予防財
団、⁵横浜市立大学医学部公衆衛生学、⁶名古屋
市立大学大学院看護学研究科感染予防学)

117 都市部 STD クリニック男性受診者の特性に関す る研究

本間隆之、木原雅子、木原正博

(京都大学大学院医学研究科社会疫学)

118 性行動に関する質問紙の信頼性 reliability の検 討

吉嶺敏子¹、木原雅子²、市川誠一³、木原正博²

(¹産業医科大学産業保健学部、²京都大学大学院
医学研究科社会医学系専攻社会疫学分野、³名古屋
市立大学看護学部感染予防学教室)

■日時：12月10日(金) 10:00~10:50

■会場：第1会場(1階 中ホール・大地)

性感染症

座長：青木 眞(サクラ精機(株))

119 当院受診患者における梅毒、B型肝炎、C型肝炎 の状況(2003年度)

後藤哲志、白野倫徳、阪上賀洋

(大阪市立総合医療センター)

120 HIV 感染症患者における性感染症の動向

中村仁美¹、佐藤未光¹、後藤美江子¹、遠藤宗臣¹、
藤井 毅²、小田原隆¹、中村哲也²、岩本愛吉¹

(¹東京大学医科学研究所先端医療研究センター
感染症分野、²東京大学医科学研究所附属病院
感染免疫内科)

121 当院の HIV/AIDS 重複感染の現状と予防の取り 組み

織田幸子¹、下司有加¹、安尾利彦²、岳中美江³、
上平朝子⁴、白阪琢磨¹

(¹国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先
端治療開発センター、²国立病院機構大阪医療セ

ンター HIV/AIDS エイズ先端治療開発センター 1、³国立病院機構大阪医療センター臨床研究部 2、⁴名古屋私立大学大学院看護学研究感染予防学 3、⁵国立病院機構大阪医療センター免疫感染症科 4)

122 大阪府内の STD クリニックにおける HIV 抗体調査と性感染症抗体調査

川畑拓也¹、小島洋子¹、森 治代¹、大國 剛²、木村博子³、大竹 徹¹

(¹大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課、²大國診療所、³木村クリニック)

123 性感染症(疑い)患者における HIV 感染症の現状(石川県立中央病院 2003 年～)

山田三枝子¹、正兼亜季¹、辻 典子¹、島村正喜²、朝本明弘²、筒井清広²、宮田 勝²、村田秀治³、狩野恵彦⁴、上田幹夫²

(財団法人エイズ予防財団(石川県立中央病院 HIV 情報室)、²石川県立中央病院診療部、³石川県立中央病院中央検査部、⁴恵寿総合病院)

■日時：12月10日(金)9:00~9:50

■会場：第3会場(6階 交流ホール)

合併症 1

座長：矢野邦夫(県西部浜松医療センター感染症科)

124 HAART 施行中に甲状腺機能異常を発症した 3 症例

天野景裕¹、佐々木昭仁¹、山中 晃¹、守谷研二¹、藤田 進²、福武勝幸²

(¹東京医科大学 臨床検査医学講座、²東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科)

125 当院において HAART 療法導入後に甲状腺機能異常をきたした 6 例の臨床的検討

森 雅江、菅沼明彦、今村顕史、味澤 篤、根岸昌功

(東京都立駒込病院)

126 HAART 施行中に症状の増悪を認めた HIV 脳症の 1 例

西堀武明¹、塚田弘樹¹、手塚貴文¹、滝沢陽子¹、新沼亜希子¹、茂呂 寛¹、今井敦子²、牧野麻由子²、内山正子²、下条文武¹

(¹新潟大学大学院医歯学総合研究科・臨床感染

制御学分野(第2内科)、²新潟大学医学部附属病院感染管理部)

127 長期抗 HIV 療法中に肥大型心筋症を呈してきた一例

高橋義博

(大館市立総合病院小児科)

128 当科における Mycobacterium avium complex(MAC)に関連した免疫再構築症候群症例の検討

原田壮平、恩田順子、阿部泰尚、福島篤仁、横田恭子、上田晃弘、田沼順子、矢崎博久、本田美和子、瀧永博之、源河いくみ、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、岡 慎一、木村 哲

(国立国際医療センター)

■日時：12月10日(金)9:50~10:40

■会場：第3会場(6階 交流ホール)

合併症 2

座長：味澤 篤(東京都立駒込病院感染症科)

129 HIV 感染者における眼合併症 一眼科専門外来 10 年間のまとめ

箕田 宏¹、薄井紀夫¹、福武勝幸²

(¹東京医科大学眼科、²東京医科大学臨床検査医学講座)

130 HIV 感染者に合併した Burkitt Lymphoma/Burkitt like Lymphoma の 2 症例

恩田順子、上田晃弘、原田壮平、阿部泰尚、福島篤仁、横田恭子、田沼順子、矢崎博久、本田美和子、瀧永博之、源河いくみ、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、岡 慎一、木村 哲

(国立国際医療センターエイズ治療研究開発センター)

131 急性 HIV 感染症候群様の発熱と全身浮腫をきたした一例

鳴河宗聡¹、安岡 彰¹、正兼亜季²、上田幹夫³、舟田 久¹

(¹富山医科薬科大学 感染症治療部、²石川県立中央病院検査部、³石川県立中央病院血液免疫内科)

132 急速な進行を示し MRI で病変の進展を経時観察しえた HIV-1、HTLV-1 共感染者の PML 症例

竹田純一¹、伊沢久未¹、森 仁¹、小田原隆¹、
鷲崎一成²、中村哲也¹、岩本愛吉¹
(¹東京大学医科学研究所感染免疫内科、²山王病
院 神経内科)

133 AIDS 指標疾患でない悪性腫瘍を合併した HIV 感染症の 3 例

宇野健司、古西 満、善本英一郎、三笠桂一
(奈良県立医科大学感染症センター)

■日時：12月10日(金) 10:40~11:30

■会場：第3会場(6階 交流ホール)

合併症 3

座長：塩村性彦(静岡県立総合病院第一内科(血液内科))

134 赤芽球癆を合併した AIDS 症例

小池 満¹、中島秀喜²、山口洋子¹、高橋正知¹
(¹聖マリアンナ医科大学 医学部 内科学 血液・腫瘍内科、²聖マリアンナ医科大学微生物学教室)

135 AIDS 患者に合併した中毒性表皮壊死症に対し血漿交換療法が奏功した 1 例

藤本勝也、小池隆夫
(北海道大学医学研究科病態内科学講座免疫・代謝内科学分野(第二内科))

136 微小変化型ネフローゼ症候群を合併した HIV・HBV 共感染血友病患者の一例

小田原隆¹、松村武史¹、伊沢久未²、小柳津直樹¹、
遠藤宗臣¹、中村仁美¹、藤井 毅¹、中村哲也¹、
岩本愛吉¹
(¹東京大学医科学研究所附属病院、²東京日立病院)

137 HIV 感染者の透析のための感染対策の実例

成毛玲子、富山広子、矢野邦夫、田原大悟、
大石和久
(県西部浜松医療センター人工透析室)

138 HIV 感染者の高齢化と問題点

森 正彦¹、山本善彦¹、古金秀樹²、上田千里¹、
上平朝子¹、長谷川善一¹、谷岡理恵¹、下司有加¹、
織田幸子¹、白阪琢磨¹
(¹国立病院機構 大阪医療センター HIV/AIDS
先端医療開発センター、²国立大阪医療センター)

HIV/AIDS 先端医療開発センター/財団法人エイズ予防財団)

■日時：12月10日(金) 9:00~10:00

■会場：第4会場(10階 会議室 1001-1)

HIV の遺伝子/複製 1

座長：間 陽子(理化学研究所分子ウイルス学研究ユニット)

岡本 尚(名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学)

139 Inhibition of HIV-1 replication in HIV-1 latently infected cells by a novel IKK inhibitor

Victoriano Ann Florence B.¹,
Asamitsu Kaori¹, Hibi Yurina¹, Mu-
rata Toshiki², Bacon Kevin B.³,
Okamoto Takashi¹

(¹Department of Molecular and Cellular Biology, Nagoya City University Graduate School of Medical Sciences, Department of Chemistry, Research Center Kyoto, Bayer Yakuhin, Ltd., Kizu, Soraku, Kyoto,³ Department of Biology, Research Center Kyoto, Bayer Yakuhin, Ltd., Kizu, Soraku, Kyoto)

140 HIV-1 インテグラーゼと相互作用する宿主細胞内因子の同定

濱本誠二¹、西辻裕紀¹、天笠光雄²、神奈木真理¹、
増田貴夫¹

(¹東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科免疫治療学、²東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科学)

141 HIV-1 Vif: アルギニン変異体の作製およびその性質

藤田美歌子、足立昭夫
(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ウイルス病原学分野)

142 HIV-1 の逆転写酵素、インテグラーゼおよびゲノムの 3' 側遺伝子を有する新規 SHIV のサルにおける感染・増殖能

秋山尚志、井戸栄治、石松美沙、三浦智行、
速水正憲
(京都大学ウイルス研究所霊長類モデル研究領)

域)

143 HIV-1 プロウイルス LTR の in vivo メチル化解析

石田尚臣¹、濱野章子¹、Suzuki Kazuo²、Cooper David²、渡邊俊樹¹
 (1東京大学大学院新領域創成科学研究科病態医療科学分野、²St.Vincent Hospital, Lab.of Immunology)

144 HIV 感染者における nef 欠損 HIV-1 変異株について

近藤真規子¹、嶋 貴子¹、須藤弘二²、足立拓也³、相楽裕子³、岩室紳也⁴、伊藤 章⁵、今井光信¹
 (1神奈川県衛生研究所微生物部、²エイズ予防財団、神奈川県衛生研究所微生物部、³横浜市立市民病院感染症部、⁴厚木市立病院、⁵国際医療福祉大学付属熱海病院)

■日時：12月10日(金) 10:00~10:40

■会場：第4会場(10階 会議室 1001-1)

HIV の遺伝子/複製 2

座長：足立昭夫(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部ウイルス病原学分野)

145 HIV ゲノム核内移行におけるインテグラーゼの機能的関与

池田たま子、西辻裕紀、神奈木真理、増田貴夫
 (東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科免疫治療学分野)

146 インテグラーゼおよび Tat を標的とした shRNA 発現レンチウイルスベクターによる HIV-1 複製抑制と逃避変異体出現の解析

西辻裕紀、神奈木真理、増田貴夫
 (東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科免疫治療学分野)

147 HIV-1 mRNA 量比に及ぼす Vpr の影響の定量解析

木全清典¹、倉光 球¹、我妻昭彦¹、横田恭子²、間 陽子¹
 (1理化学研究所分子ウイルス学研究ユニット、²国立感染症研究所免疫部)

148 スプライソソームとの結合を介して起こる HIV-

1 Vpr のスプライシング阻害反応機構の解析

橋爪智恵子、鈴木辰徳、倉光 球、間 陽子
 (理化学研究所 分子ウイルス学研究ユニット)

■日時：12月10日(金) 10:40~11:30

■会場：第4会場(10階 会議室 1001-1)

HIV の遺伝子/複製 3

座長：佐藤裕徳(国立感染症研究所遺伝子解析室)

149 Role of Nup 98 in nuclear entry of human immunodeficiency virus type 1 cDNA

Koyanagi Yoshio, Aoki Jun, Yoshida Takeshi, Ebina Hiroataka
 (Laboratory of Viral Pathogenesis, Institute for Virus Research, Kyoto University Kyoto)

150 Follicular dendritic cells enhance HIV-1 replication through stimulation of latently infected cells both in vitro and in vivo

Kenji Ohba¹, Md.Zahidunnabi Dewan², Qi xiaohua¹, Yoshihiro Koya¹, Kazuo Terashima¹, Naoki Yamamoto²
 (1Department of Molecular Virology, Bio-Response, Graduate School, Tokyo Medical and Dental University, ²AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases)

151 HIV Trapping System による Ghana で流行する HIV-1 感染性分子クローンの樹立

木ノ本正信¹、徳永研三¹、坂本優子²、生田和良³、倉田 毅¹、佐多徹太郎¹、巽 正志²
 (1国立感染症研究所感染病理部、²国立感染症研究所エイズ研究センター、³大阪大学微生物病研究所ウイルス免疫分野)

152 HIV-1 Vif 蛋白による Gag p 2/NC プロセシング制御に関する解析

李 永仲、飯島沙幸、明里宏文
 (国立感染症研究所・筑波医学実験用霊長類センター)

153 プロモーター領域をターゲットとした siRNA による HIV-1 gene silence

鈴木一雄

(Saint Vincent's Hospital, Centre for Immunology)

■日時：12月10日(金) 11:30~12:10

■会場：第4会場(10階 会議室 1001-1)

動物モデル

座長：岩倉洋一郎(東京大学医科学研究所ヒト疾患モデル研究センター)

154 hCRM 1 発現によるラット細胞での HIV-1 増殖の増強

優秀

志田壽利

(北海道大学遺伝子病制御研究所)

155 ヒト臍帯血単核球を用いた HIV-1 感染モデルマウスの開発

優秀

後藤優美、原田英樹、鈴 伸也、岡田誠治

(熊本大学エイズ学研究センター予防開発分野)

156 HIV-1 由来プロテアーゼを持つ SHIV のサル継代による感染増殖力の増強

鈴木 元、井戸栄治、伊吹謙太郎、速水正憲、

三浦智行

(京都大学ウイルス研究所附属感染症モデル研究センター)

157 病原性 SHIV C 2/1 感染カニクイザルにおける早期骨髄幹細胞コロニー形成の障害と病態進行への関連性

山上賢治¹、武井正美¹、網 康至³、仲宗根正²、

北村 登¹、三田村巧¹、本多三男²、澤田滋正¹

(¹日本大学医学部 血液膠原病内科、²国立感染症研究所 エイズ研究センター、³国立感染症研究所 動物管理室)

■日時：12月10日(金) 9:00~9:40

■会場：第5会場(10階 会議室 1001-2)

ソーシャルワーク

座長：山本博之(聖カタリナ大学社会福祉学部)

158 HIV 感染者の就労状況と支援環境—「HIV 感染者の社会生活に関する実態調査」の結果から

優秀

若林子ヒロ¹、生島 嗣²、小西加保留³、

島田 恵⁴、木村 哲⁴

(¹埼玉県立大学、²NPO 法人ふれいす東京、³桃山学院大学、⁴国立国際医療センター エイズ治

療・研究開発センター)

159 社会福祉施設の HIV 感染者受け入れに影響する要因について

優秀

小西加保留

(桃山学院大学社会学部社会福祉学科)

160 身体に障害を持つ HIV 陽性者・家族の社会資源の利用調査に関する考察

牧原信也¹、大内幸恵⁴、福原寿弥²、生島 嗣²、

小西加保留³

(¹エイズ予防財団、²特定非営利活動法人 ふれいす東京、³桃山学院大学社会学部社会福祉学科、

⁴東京都立大学大学院社会科学研究所)

161 HIV 陽性者の子どもを介助する母親のディストレス

大内幸恵¹、牧原信也²、福原寿弥³、生島 嗣³、

小西加保留⁴

(¹東京都立大学大学院社会科学研究所、²エイズ

予防財団、³特定非営利活動法人ふれいす東京、⁴桃山

学院大学社会学部社会福祉学科)

■日時：12月10日(金) 9:40~10:20

■会場：第5会場(10階 会議室 1001-2)

予防介入

座長：木原雅子(京都大学大学院医学研究科社会疫学分野)

162 Peer による若年層の HIV 予防啓発活動の有用性

楠田知子¹、中谷真理子²、北田真平¹、塩島裕樹¹、

山田 治²

(¹山口大学医学部医学科、²山口大学医学部保健

学科)

163 タイ北部の女性工場労働者の HIV 感染予防の意識と実践

道信良子

(札幌医科大学保健医療学部一般教育科)

164 東京都エイズ・ピア・エデュケーション事業受講生のアンケート調査結果と今後の事業展開

白木きよみ¹、谷津洋子²、熊埜御堂明子¹、

飯田真美¹、前田秀雄¹

(¹東京都福祉保健局健康安全室感染症対策課、

²東京都多摩立川保健所)

165 西日本 C 市の中学生における学校ベースの HIV 予防介入研究

木原雅子、Mortazavi Shahrzad、本間隆之、山崎浩司、日高庸晴、Zamani Saman、木原正博
 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻社会疫学分野)

■日時：12月10日(金) 10:20~10:50

■会場：第5会場(10階 会議室 1001-2)

疫学

座長：木村博和(横浜市立大学医学部公衆衛生学講座)

166 わが国の AIDS 発生率の推移

木村博和¹、市川誠一²、日高庸晴³
 (横浜市立大学医学部公衆衛生学講座、²名古屋市立大学大学院、³京都大学大学院医学研究科)

167 HIV 感染者/AIDS 患者報告数の都道府県別推移について

白阪琢磨¹、古金秀樹¹、下司有加¹、織田幸子¹、川戸美由紀²
 (国立病院機構 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療センター、²藤田保健衛生大学 医学部衛生学)

168 HIV/AIDS と人口移動—地域レベルでの有効な取り組みは可能か

今津里沙、野内英樹
 (財団法人結核予防会結核研究所)

■日時：12月10日(金) 10:50~11:40

■会場：第5会場(10階 会議室 1001-2)

HIV 検査体制

座長：今井光信(神奈川県衛生研究所)

169 HIV 即日検査の試験的实施とその普及への試み

嶋 貴子¹、西大條文一²、潮見重毅³、中瀬克己⁴、今井光信¹
 (神奈川県衛生研究所、²北新宿同仁斎メディカルクリニック、³栃木県南健康福祉センター、⁴岡山市保健所)

170 保健所 HIV 即日検査相談の導入に伴う相談充実体制整備条件の検討

嶋とも子¹、中瀬克己²、嶋 貴子³、今井光信³
 (国立保健医療科学院人材育成部、²岡山市保健所、³神奈川県衛生研究所)

171 市民団体が担う土曜日常設 HIV 抗体検査事業：検査体制と受検者の動向

岳中美江¹、榎本てる子¹、後藤哲志¹、土居加寿子¹、松浦基夫¹、織田幸子¹、藤山佳秀¹、市川誠一²
 (NPO 法人 CHARM、²名古屋市立大学大学院看護学研究科)

172 HIV 抗体検査結果お知らせにおいて把握しえた感染リスク行動~CHARM 土曜日常設 HIV 抗体検査事業 2 年間の経験より~

松浦基夫、岳中美江、榎本てる子、後藤哲志、藤山佳秀、土居加寿子
 (NPO 法人 CHARM)

173 名古屋医療センターにおける HIV 検診のあり方と意義について考える~受検者の背景と相談内容を調査・分析して

日比生かおる、三和治美、山田由美子、濱口元洋
 (独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター)

■日時：12月10日(金) 16:40~17:20

■会場：第5会場(10階 会議室 1001-2)

歯科

座長：加藤光剛(静岡県立こども病院歯科)

174 HIV 感染者の歯科診療受入状況と歯科診療室における感染予防対策の現状

新庄文明¹、五島真理為²、木下ゆり²、塩入康史²、伊藤麻里子³、Caitolin Stronell²
 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、²特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター、³エイズ予防財団リサーチレジデント)

175 HIV/AIDS 患者の院内歯科受診状況

中野恵美子¹、島田 恵²、田上 正³、岡 慎一²、木村 哲²
 (国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター/財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント、²国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター、³国立国際医療センター 歯科口腔外科)

176 東京都における HIV 感染者歯科診療ネットワークの現状

柿澤 卓¹、松本宏之²、伊能智明³、鈴木基之⁴、
貝塚雅信⁵、兵頭英昭⁵、森岡俊介⁵
(¹東京歯科大学水道橋病院口腔外科、²東京医科
歯科大学歯学部付属病院感染対策歯科治療部、
³東京医科大学口腔外科学講座、⁴昭和大学歯学部
歯周病学講座、⁵東京都歯科医師会)

177 HIV 感染者の歯科診療における 10 年間の変化 優秀 一病院歯科を対象としたアンケート調査結果一

宇佐美雄司
(刈谷総合病院歯科口腔外科)

■日時：12月10日(金) 9:00~9:50

■会場：第6会場(9階 会議室 910)

免疫 1

座長：神奈木真理(東京医科歯科大学医学部免
疫治療学)

178 HLA-A*2601 拘束性・HIV-1 特異的 CTL によ 優秀 る変異エピトープの認識

佐藤愛美¹、岡 慎一²、滝口雅文¹
(熊本大学 エイズ学研究センター ウイルス
制御分野、²国立国際医療センター エイズ治療・
研究開発センター)

179 HLA-A*2603 に提示される HIV-1 T 細胞エピ 優秀 トープ同定

川島夕佳¹、佐藤愛美¹、岡 慎一²、滝口雅文¹
(熊本大学 エイズ学研究センター ウイルス
制御分野、²国立国際医療センター・エイズ治療、
研究開発センター)

180 長期末治療患者における Nef 特異的 HLA-A* 1101 拘束性 CD 8+T 細胞の解析

小泉寛和¹、富山宏子¹、藤原 守¹、上野貴将¹、
岡 慎一²、滝口雅文¹
(¹熊本大学 エイズ学研究センター ウイルス
制御、²国立国際医療センター・エイズ治療研究
開発センター)

181 HIV 感染患者における血清 RCAS 1 濃度測定の 臨床的意義の検討

南 留美、山本政弘
(独立行政法人国立病院機構九州医療センター)

182 野生型及び変異型エピトープを提示する MHC クラス I テトラマーを用いた多重染色による HIV 特異的 CD 8 陽性 T 細胞の解析

立川(川名)愛¹、富澤麻利子¹、小川照美¹、
中村哲也²、小田原隆¹、岩本愛吉¹
(¹東京大学医科学研究所先端医療研究センター
感染症分野、²東京大学医科学研究所附属病院感
染免疫内科)

■日時：12月10日(金) 9:50~10:40

■会場：第6会場(9階 会議室 910)

免疫 2

座長：照沼 裕(日本バイオセラピー研究所)

183 弱毒 SHIV 分子クローンのサル経直腸感染初期 における腸管粘膜免疫の解析

伊吹謙太郎、三宅在子、堀内励生、斉藤尚紀、
鈴木 元、元原麻貴子、稲葉一寿、速水正憲、
三浦智行
(京都大学ウイルス研究所附属感染症モデル研究
センター霊長類モデル研究領域)

184 gp 120 の C 3 領域変異による抗 V 3 中和抗体 優秀 に対する中和抵抗性の獲得

柴田潤二、木村哲也、岩田隆一、吉村和久、
小糸 厚、松下修三
(熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野)

185 HIV 感染者の免疫状態と CD 4⁺CD 25^{high}T 細胞の関係

常見 幸¹、徳川多津子¹、澤田暁宏¹、
角田ちぬよ¹、丸茂幹雄¹、日笠 聡¹、白阪琢磨²、
垣下栄三¹
(¹兵庫医科大学総合内科 血栓止血・老年病科、
²国立病院大阪医療センター 免疫感染症科)

186 自己由来の HIV に対して中和活性をもつ血清中 和抗体の交差中和性の研究。

岩田隆一、柴田潤二、木村哲也、吉村和久、
小糸 厚、松下修三
(熊本大学エイズ学研究センター)

187 HIV-1 感染者一末梢静止 CD 4+T 細胞表面上に 認められる免疫複合体の解析

鈴木康弘、瀧永博之、立川夏夫、菊池 嘉、
照屋勝治、本田美和子、源河いくみ、岡 慎一、
木村 哲

(国立国際医療センター)

■日時：12月10日(金) 10:40~11:30

■会場：第6会場(9階 会議室 910)

免疫3

座長：滝口雅文(熊本大学エイズ学研究中心
ウイルス制御分野)

188 T細胞レセプター導入による新たな免疫療法の検討

上野貴将、藤原 守、井手上結香、富山宏子、
滝口雅文

(熊本大学エイズ学研究中心)

189 HIV-1感染の病態進行に伴うNK細胞サブセットの変化についての検討

とう学文¹、照沼 裕²、金 浩範³、
Mukanta Mwansa³、Gondwe Clement³、
山下篤哉³、葛西宏威³、河村正輝¹、伊藤正彦³、
花房秀次⁴、三浦琢磨⁵、三間屋純一⁶

(¹山梨大学医学部代替医療国際協力講座、²日本
バイオセラピー研究所、³山梨大学大学院医学工
学総合研究部微生物、⁴荻窪病院、⁵芳賀赤十字病
院、⁶静岡県立こども病院)

190 ICOSとCD28を介するHIV-1複製調節

周 シン¹、久保 誠¹、西辻裕紀¹、栗原 清¹、
池田たま子¹、大橋 貴¹、東みゆき²、増田貴夫¹、
神奈木真理¹

(¹東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
免疫治療学分野、²東京医科歯科大学 大学院
医歯学総合研究科 分子免疫学分野)

191 HIV-1抑制因子を産生する健常人由来CD8+CTL株の樹立

久保 誠¹、西辻裕紀¹、栗原 清¹、増田貴夫¹、
神奈木真理¹

(¹東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
免疫治療学分野、²エイズ予防財団)

192 CCR5架橋による単球のマクロファージおよび樹状細胞への分化誘導とHIV-1感染抑制

田中礼子、吉田篤司、田中勇悦

(琉球大学大学院医学研究科(医学部医学科))

■日時：12月10日(金) 9:00~10:00

■会場：第7会場(9階 会議室 904)

国際的研究活動

座長：安田直史(国立国際医療センター国際医療
協力局派遣協力第二課)

若杉なおみ(国立国際医療センター研究
所疫学統計研究部)

193 WHOのHIV合併結核に対する戦略

井戸田一朗

(WHO 南太平洋事務局)

194 ミャンマーにおける一般市民およびヘルスワーカーのHIV/AIDSに対する意識

劔 陽子

(産業医科大学医学部公衆衛生学)

195 ケニアにおける未治療HIV感染者の薬剤耐性遺伝子とサブタイプの流行状況について

山本直彦¹、森下高行²、佐藤克彦²、金田次弘³、
伊部史朗³、永井裕美³、内海 眞⁴、宮城島拓人⁵

(¹名古屋大学大学院医学系研究科、²愛知県衛生
研究所、³名古屋医療センター、⁴高山厚生病院、
⁵釧路労災病院)

196 ザンビアのHIV感染者におけるARV治療開始時の知識・行動とQOLに関するベースライン調査

岩永典子¹、Francis Kasolo²、吉田邦仁子¹、
若杉なおみ¹

(¹国立国際医療センター研究所・疫学統計研究
部、²ザンビア大学教育病院)

197 入院時VCTとCD4数測定(ダイナビーズ法)によるART(抗レトロウイルス治療)必要者の検出—マラウィ国立リロングエ中央病院の事例

中山久仁子¹、Johns Mhango²、
Karina Shmitz²、Washington Ozitiosauka²、
Jacqueline Weigel²、Kinsley Magomero²、
若杉なおみ³

(¹東京大学感染症内科、²Lilongwe Central
Hospital, Malawi、³国立国際医療センター)

198 コンドーム使用の促進に関連する女性エンパワメント要因—アフリカ3ヶ国結果のメタアナリシス

若杉なおみ¹、西山綾子¹、

Randrianarivo Armand²、Sacko Assitan³、
Siwale Margaret⁴、Kankasa Chipepo⁴
(¹国立国際医療センター研究所、²マジュンガ地
域保健局、マダガスカル、³アサコプル住民運営
診療所、マリ、⁴ザンビア大学教育病院、ザンビ
ア)

■日時：12月10日(金) 10:00~11:10

■会場：第7会場(9階 会議室 904)

MSM

座長：市川誠一(名古屋市立大学大学院看護学科
感染予防学)
長谷川博史(JaNP+代表)

199 大阪地域におけるMSM向けコンドームアウト リーチの効果

市川誠一¹、木村博和²、鬼塚哲郎³、辻 宏幸⁴
(¹名古屋市立大学大学院看護学研究科感染予防
学研究室、²横浜市立大学医学部公衆衛生学、³京
都産業大学/MASH大阪、⁴エイズ予防財団/
MASH大阪)

200 同性愛者を対象にした名古屋での無料HIV抗体 検査会

内海 眞¹、濱口元洋²、菊池恵美子²、河村昌伸³、
五島真理為⁴、市川誠一⁵
(¹高山厚生病院、²国立病院機構名古屋医療セン
ター、³ANGEL LIFE NAGOYA、⁴HIVと人権・
情報センター、⁵名古屋市立大学)

201 同性愛者等を対象とした個別施策と行政—NGO 連携を推進するうえでの課題/阻害要因に関する 研究

鳩貝啓美¹、柏崎正雄¹、新美 広¹、太田昌二¹、
菅原智雄¹、風間 孝²
(¹特定非営利活動法人働くゲイとレズビアン
の会、²中京大学)

202 ゲイバーを介入空間とするワークショップ型 HIV予防啓発手法のケーススタディ~各地で実 施可能にするためのモデル~

柏崎正雄¹、鳩貝啓美²、新美 広²、太田昌二²、
嶋田憲司³、河口和也⁴
(¹特定非営利活動法人働くゲイとレズビアン
の会、エイズ予防財団、²特定非営利活動法人
働くゲイとレズビアン
の会、³せかんどかみんぐあ
うと、⁴広島修道大学)

203 コミュニティセンター「akta」の活動と利用状 況について

佐藤未光¹、今井敏幸²、張由紀夫²、木村博和³、
市川誠一⁴
(¹Rainbow Ring、東京大学医科学研究所、²エ
イズ予防財団リサーチレジデント、Rainbow
Ring、³横浜市立大学、⁴名古屋市立大学)

204 コミュニティセンター「akta」の運営における 工夫と課題

張由紀夫¹、今井敏幸¹、佐藤未光²、木村博和³、
市川誠一⁴
(¹エイズ予防財団リサーチレジデント、Rainbow
Ring、²東京大学医科学研究所、Rainbow Ring、
³横浜市立大学、⁴名古屋市立大学)

205 ゲイコミュニティと保健所の協働による検査環境 改善を目的としたMSMのセクシュアリティ理 解プログラム

長谷川博史¹、山本政弘²、市川誠一³
(¹ジャンププラス/Japanese Network of
People living with HIV/AIDS、²独立行政法人
国立病院機構九州医療センター、³名古屋市立大
学)

■日時：12月11日(土) 9:00~9:50

■会場：第2会場(11階 会議ホール・風)

HIV分化進化系統

座長：武部 豊(国立感染症研究所エイズ研究セ
ンター)

206 HIV-1 subtypes in the northern border region of Kenya

Lwembe Raphael¹、Songok E.M.²、
Mwangi J¹、大石 功³、市村 宏¹
(¹金沢大学大学院医学系研究科ウイルス感染症
制御学、²ケニア中央医学研究所、³KEMRI-JICA
プロジェクト)

207 アフリカ由来HIV-1 subtype C感染性分子ク ローンの樹立と解析

原 敬志¹、坂本優子¹、照沼 裕²、本多三男¹、
山本直樹¹、巽 正志¹
(¹国立感染症研究所エイズ研究センター、²日本
バイオセラピー研究所)

208 分子疫学的手法を用いたHIV-1伝播経路の解析

小島洋子¹、川畑拓也¹、森 治代¹、大國 剛²、
大竹 徹¹
(¹大阪府立公衆衛生研究所 ウイルス課、²大國
診療所)

209 Long terminal repeat sequences of Zambian HIV-1 isolates

Mwansa Munkanta¹, Ray Handema²,
Clement Gondwe¹, xuewen deng¹, Hiro-
take Kasai¹, Atsuya Yamashita¹, Masa-
hiko Ito¹, Francis Kasolo², Hiro-
shi Terunuma³
(¹Department of Microbiology, Faculty of
Medicine, University of Yamanashi, Japan,
²Virology Laboratory, University Teaching
Hospital, Zambia, ³Biotherapy Institute of
Japan, Tokyo)

210 中央アフリカ地域における HIV-1 の多様性の拡大と新しい組み換えウイルス群の出現

原田礼忠¹、竹村太地郎¹、井戸栄治¹、
Bikandou Blaise²、市村 宏³、速水正憲¹、
Henri Jopseph Parra²
(¹京都大学ウイルス研究所霊長類モデル研究領
域、²コンゴ共和国国立公衆衛生研究所、³金沢大
学大学院医学研究科ウイルス感染症制御学)

■日時：12月11日(土) 9:00~10:00

■会場：第4会場(10階 会議室 1001-1)

性行動調査 2

座長：池上千寿子(ぶれいす東京)
松田正己(静岡県立大学看護学部)

211 西日本 C 市の中学生に対する HIV/STD 関連知識、性意識に関する横断研究

Mortazavi Shahrzad、木原雅子、本間隆之、
山崎浩司、日高庸晴、Zamani Saman、
木原正博
(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻
社会疫学分野)

212 西日本 A 県女子高校生のコンドーム入手のプロセスに関する質的研究

山崎浩司、木原雅子、本間隆之、
Mortazavi Shahrzad、日高庸晴、
Zamani Saman、木原正博
(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻
社会疫学分野)

社会疫学分野)

213 性感染症予防研修が高校 3 年生の性感染症予防意識に及ぼした影響

渡部恵子¹、大野稔子²、川口洋子²
(¹北海道大学病院 リサーチレジデント、²北海
道大学病院 看護部)

214 モーリシャスの若者の性行動と社会文化的要因の関連

西村由美子、木原正博、木原雅子
(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻
国際保健学講座社会疫学分野)

215 若年男性における性感染症に対する認識、感染を疑った際の受診行動、予防行動に関する質的研究

金子典代¹、犬飼昌子¹、岡本里香²、安酸史子³、
中瀬克己⁴
(¹岡山大学医学部保健学科、²滋賀県立大学 人
間看護学部、³福岡県立大学 看護学部、⁴岡山市
保健所)

216 HIV 感染予防啓発における 10 代学生の母親がもつ影響

亀山亜弓¹、井上悦子¹、徳永郁子¹
(熊本保健科学大学 保健科学部 看護学科、
²熊本保健科学大学 保健科学部 看護学科、³熊
本保健科学大学 保健科学部 看護学科)

■日時：12月11日(土) 10:00~10:50

■会場：第4会場(10階 会議室 1001-1)

感染者とセクシャルヘルス

座長：井上洋士(千葉大学看護学部訪問看護学教
育研究分野)

217 HIV 感染者への性行動指導案作成とそれを用いた看護のかかわりについて

宮林優子、鳥巢妃佳里
(横浜市立市民病院)

218 HIV 感染者への性行動指導に関する研究—第 2 報—

宮林優子、内田順子、渡邊美保
(横浜市立市民病院看護部)

219 HIV 感染者のセクシャルヘルスへの支援に関する調査研究【第一報】

村上未知子¹、井上洋士²、有馬美奈³、市橋恵子⁴、
岩本愛吉⁵、大野稔子⁶、山元泰之⁷、木原正博⁸
(¹東京大学医科学研究所附属病院、²千葉大学看護学
部地域看護学講座訪問看護学教育研究分野、
³東京都立駒込病院、⁴訪問看護ステーション堂
山、⁵東京大学医科学研究所先端医療研究センター
感染症分野、⁶北海道大学病院、⁷東京医科大学臨
床検査医学、⁸京都大学大学院医学研究科国際保
健学)

220 HIV 感染者のセクシュアルヘルスへの支援に関 する調査研究【第二報】

井上洋士¹、村上未知子²、有馬美奈³、市橋恵子⁴、
岩本愛吉⁵、大野稔子⁶、山元泰之⁷、木原正博⁸
(¹千葉大学看護学部地域看護学講座訪問看護学
教育研究分野、²東京大学医科学研究所附属病院、
³東京都立駒込病院、⁴訪問看護ステーション堂
山、⁵東京大学医科学研究所先端医療研究センター
感染症分野、⁶北海道大学病院、⁷東京医科大学臨
床検査医学、⁸京都大学大学院医学研究科国際保
健学)

221 HIV 感染予防介入の実践方法論としての「プリ ベンション・ケースマネジメント(PCM)」の理 解と導入に関する研究

藤原良次¹、鬼塚直樹²、早坂典生¹、宮島謙介³、
木原正博⁴、山崎浩司⁴
(¹りょうちゃんず、²University of California,
San Francisco, Center for AIDS Preven-
tion Studies、³成城墨岡クリニック、⁴京都大学)

■日時：12月11日(土) 10:50~11:50

■会場：第4会場(10階 会議室 1001-1)

HIV 受検者

座長：鎌倉光宏(慶應義塾大学看護医療学部/医
学部)

桜井賢樹((財)エイズ予防財団研修・研究
部)

222 自発的 HIV 検査の受診動機について

尾形享一¹、鈴木祐見子²、佐々木昭仁¹、
大瀧 学¹、山元泰之¹、山口 剛³、福武勝幸¹
(¹東京医科大学病院 臨床検査医学科、²東京医
科大学病院 看護部、³東京都南新宿検査・相談
室)

223 保健所における HIV 抗体検査の頻回受検者の特

性に関する研究

北川信一郎¹、木原雅子²、木原正博²
(¹京都市下京保健所、²京都大学大学院医学研究
科社会健康医学系専攻社会疫学分野)

224 HIV 抗体検査の受検理由に関する検討

山口正純、内藤俊夫、松塚貴美子、久保健太郎、
坂本直治、福田友紀子、三橋和則、大嶋弘子、
武田直人、磯沼 弘、渡邊一功、檀原 高、
林田康男
(順天堂大学医学部附属順天堂医院総合診療科)

225 HIV 抗体検査受検者の実態把握と予防介入に関 する考察

濱吉由巳子、足立礼子、松本恵子、坂本裕子、
池田暁美、田替藤和子、坂谷芙美子、長谷 豊
(大阪市北区保健福祉センター)

226 東京都南新宿検査・相談室で開始した土日検査の 優秀受診者像

阿保 満¹、小竹桃子²、山口 剛³、白木きよみ¹、
飯田真美¹、前田秀雄¹、湯藤 進⁴
(¹東京都福祉保健局健康安全室感染症対策課、
²練馬区大泉保健相談所、³東京都南新宿検査・相
談室、⁴東京都医師会)

227 感染不安後「推奨受検時期以前の自発的 HIV 受 検」に関する要因の検討—東京都南新宿検査・相 談室の抗体陰性受診者における分析、2000— 2002 年

橘とも子¹、谷畑健生²、市川誠一³、阿保 満⁴、
杉下由行⁴、前田秀雄⁴、山口 剛⁵
(¹国立保健医療科学院人材育成部、²国立保健医
療科学院疫学部、³名古屋市立大学看護学部、⁴東
京都健康局医療サービス部、⁵東京都南新宿検査・
相談室)

■日時：12月11日(土) 13:50~14:50

■会場：第4会場(10階 会議室 1001-1)

HIV の感染機構と病態 1

座長：内山 卓(京都大学大学院医学研究科血
液・腫瘍内科学)
佐多徹太郎(国立感染症研究所感染病理部)

228 CD 4 陽性 NKT 細胞による HIV-1 感染拡大の可 能性

日高千鶴乃、渡邊恵理、清水真澄、山西慎吾、

里見操緒、新谷英滋、高橋秀実
(日本医科大学微生物免疫学教室)

229 importin α を介した Vpr 新規核移行機序の HIV-1 標的細胞を用いた解析

笠原 (仁田原) 優子¹、飯島沙幸¹、横田恭子²、
間 陽子¹
(¹理化学研究所 分子ウイルス学研究ユニット、
²国立感染症研究所 免疫部)

230 HIV-1 Env gp 41 の heptad repeat ペプチド (C 34) の HIV-1 サブタイプ間の比較

李 桂梅¹、Jiranan Warachit¹、岩部幸枝¹、
李 永剛¹、Madiha Ibrahim¹、小路早苗¹、
辻祥太郎¹、後藤俊幸²、山本大助³、林 良雄⁴、
木曾良明⁴、生田和良¹
(¹大阪大学微生物病研究所ウイルス免疫分野、
²京都大学医学部保健学科、³大阪医科大学医学情報処理センター、⁴京都薬科大学薬品化学教室)

231 正常 CD 4+T 細胞において IL-4 依存的に誘導される AP-1 による X 4 HIV-1 複製亢進

李 永剛¹、亀岡正典²、岩部幸枝¹、
Jiranan Warachit¹、李 桂梅¹、
Madiha Ibrahim¹、小路早苗¹、辻祥太郎¹、
生田和良¹
(¹大阪大学微生物病研究所ウイルス免疫分野、
²奈良県立医科大学学生化学教室)

232 GPR 1 をコレセプターとして使用する HIV-1 株の感染を検出する細胞株の作製

大槻貴博¹、清水宣明¹、大上厚志¹、巽 正志²、
星野洪郎¹
(¹群馬大学大学院医学系研究科分子予防医学、
²国立感染症研究所獣医科学部)

233 HIV-1 慢性感染細胞株 J 22 HL-60 と T 細胞株 MOLT-4 の共培養時における HIV-1 複製の増強機構

斉 暁華¹、小屋美博²、清水佐紀¹、和田 学¹、
大庭賢二¹、山本直樹³
(¹東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科
ウイルス制御学、²株式会社サイメディア 応用研究部、³国立感染症研究所 エイズ研究センター)

■日時：12月11日(土) 14:50~15:50

■会場：第4会場(10階 会議室 1001-1)

HIV の感染機構と病態 2

座長：生田和良 (大阪大学微生物病研究所ウイルス免疫分野)

塩田達雄 (大阪大学微生物病研究所免疫・生体防御研究部門ウイルス感染制御分野)

234 HIV-2 感染例における血中ウイルス量の増加とその多様性の推移

景山誠二、市村 宏
(金沢大学大学院 医学系研究科 環境医科学専攻 ウイルス感染症制御学講座)

235 Cathecolamines Inhibit HIV-1 Infetion through the NF- κ B Inactivation

Masako Moriuchi, Hiroyuki Moriuchi
(Division of Medical Virology, Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences)

236 Seminal Fluid Enhances Human Immunodeficiency Virus Type 1 Infection of Macrophages

Hiroyuki Moriuchi, Masako Moriuchi
(Division of Medical Virology, Department of Molecular Microbiology and Immunology, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences)

237 Vif は E 3 リガーゼ複合体のコンポーネントとして APOBEC 3 G をユビキチン化する。

小林正行、高折晃史、内山 卓
(京都大学大学院血液・腫瘍内科学)

238 HIV-1 によるヒト単球の樹状細胞への分化阻害

優秀 吉田篤司、村上 努、田中礼子、田中勇悦
(琉球大学医学部地域環境医科学講座免疫学分野)

239 Tat 発現 Jurkat 細胞におけるプロテオーム解析

坂田明子¹、武田 哲¹、山本直樹²
(¹東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科ウイルス制御学、
²国立感染症研究所エイズ研究センター)

■日時：12月11日(土) 15:50~17:00

■会場：第4会場(10階 会議室 1001-1)

治療開発 1

座長：馬場昌範(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター)

松岡雅雄(京都大学ウイルス研究所附属エイズ研究施設感染免疫研究領域)

240 ELISA を応用した迅速な HIV-fusion inhibitor screening 法の確立

児玉栄一¹、榊原綾子¹、大高 章²、藤井信孝²、松岡雅雄¹

(¹京都大学ウイルス研究所、²京都大学大学院薬学研究科)

241 新規核酸誘導体 2', 3'-didehydro-3'-deoxy-4'-ethynylthymidine(4'-Ed 4 T)の各種薬剤耐性株に対する抗 HIV-1 効果

二反田隆夫、王 欣、馬場昌範

(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 難治ウイルス病態制御研究センター 抗ウイルス化学療法研究分野)

242 新規のプロテアーゼ阻害剤 UIC 02031(031)の同定と抗 HIV 活性の検討

こう康博¹、中田浩智¹、松見信太郎¹、一ノ宮麻紀¹、青木宏美¹、Arun Ghosh²、満屋裕明¹

(¹熊本大学大学院医学薬学研究部・血液内科学・感染免疫診療部、²University of Illinois at Chicago)

243 低分子 CCR 5 阻害剤の抗 HIV 活性発現機序とケモカイン阻害作用に対する構造学的解析

前田賢次¹、青木宏美¹、宮川寿一¹、中田浩智¹、高岡義和²、Edward Arnold³、満屋裕明¹

(熊本大学大学院医学薬学研究部血液内科学・感染免疫診療部、²小野薬品工業水無瀬総合研究所、³Rutgers University, NJ, USA.)

244 CCR 5 阻 害 剤 AK 602/ONO 4128/GW 873148 の結合部位の同定

青木宏美¹、前田賢次¹、東條 靖¹、宮川寿一¹、原田恵嘉²、高岡義和³、佐川健二³、Edward Arnold⁴、満屋裕明¹

(熊本大学大学院医学薬学研究部血液内科学・感染免疫診療部、²米国国立衛生研究所・レトロ

ウイルス感染症部、³小野薬品工業水無瀬総合研究所、⁴Rutgers University, NJ, USA.)

245 Highly potent anti-HIV-1 activity isolated from polygonum tinctorium aiton

Zhong Yu¹, Yoshinaka Yoshiyuki², Inakaki Yoshio¹, Fujii Nobutaka³, Yamamoto Naoki¹

(¹Department of Molecular Virology, Tokyo Medical and Dental University, ²Human Gene Sciences Center, Tokyo Medical and Dental University, ³Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kyoto University)

246 HIV-1_{env} クローンライブラリー作成の試み— HIV-1_{env} の迅速なクローニング、発現および組み換えウイルス作成システム構築—

藤 秀義¹、田中真理²、宮内浩典²、松田善衛²、星野忠次¹、有吉紅也²、星野洪郎⁵、佐藤裕徳³、横幕能行⁴

(¹千葉大学大学院薬学研究院薬品物理化学、²国立感染症研究所エイズ研究センター、³国立感染症研究所遺伝子解析室、⁴千葉大学医学部附属病院、⁵群馬大学医学部衛生学教室)

■日時：12月11日(土) 9:40~10:20

■会場：第5会場(10階 会議室 1001-2)

新規薬剤 1

座長：岡 慎一(国立国際医療センター病院エイズ治療・研究開発センター)

247 テノホビル(Tenofovir : TDF)を含んだ HAART 開始後に急性腎不全を呈した 1 例

遠藤宗臣¹、中村仁美²、藤井 毅²、小田原隆²、中村哲也¹、岩本愛吉³

(¹東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染免疫内科、²東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野、³東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染免疫内科、感染症分野)

248 Tenofovir の効果と副作用

木内 英¹、花房秀次¹、小島賢一¹、加藤真吾²、田中理恵²、築地謙治²、太田未緒¹、和田育子¹

(¹荻窪病院血液科、²慶應義塾大学医学部微生物学免疫学教室)

(国立国際医療センター)

249 初回治療にアタザナビルを使用した1症例

奥村直哉¹、大久保重則¹、林 誠¹、
日比生かおる²、三和治美²、間宮均人³、
濱口元洋⁴

(¹国立病院機構名古屋医療センター薬剤科、²国立病院機構名古屋医療センター看護部、³国立病院機構名古屋医療センター総合内科、⁴国立病院機構名古屋医療センター血液内科)

250 新規プロテアーゼ阻害薬 atazanavir による高ビリルビン血症

安岡 彰¹、鳴河宗聡¹、峯村信嘉²、間宮均人²、
山中克郎²、濱口元洋²

(¹富山医科薬科大学医学部感染予防医学、²国立病院機構 名古屋医療センター)

■日時：12月11日(土) 10:20~11:00

■会場：第5会場(10階 会議室 1001-2)

新規薬剤 2

座長：高田 昇(広島大学病院エイズ医療対策室)

251 Atazanavir を含む抗 HIV 療法の評価

花房秀次¹、木内 英¹、太田未緒¹、和田育子¹、
小島賢一¹、田中理恵²、築地謙治²、加藤真吾²
(¹荻窪病院 血液科、²慶應義塾大学微生物)

252 当院における硫酸アタザナビルの使用経験

吉野宗宏¹、永井聡子¹、下司有加²、織田幸子²、
高濱宗一郎³、谷岡理恵³、森 正彦³、
長谷川善一³、山本善彦³、上田千里³、上平朝子³、
白阪琢磨³

(¹独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤科、²独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 看護部、³独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 免疫感染症科)

253 当院における硫酸アタザナビル投与例についての臨床的検討

今村顕史、菅沼明彦、味澤 篤、根岸昌功
(都立駒込病院感染症科)

254 Atazanavir を含む抗 HIV 療法の短期成績

立川夏夫、菊池 嘉、照屋勝治、源河いくみ、
瀧永博之、本田美和子、矢崎博久、田沼順子、
上田晃弘、鈴木康弘、岡 慎一、木村 哲

■日時：12月11日(土) 11:00~11:40

■会場：第5会場(10階 会議室 1001-2)

薬物血中濃度

座長：栞原 健(独立行政法人国立病院機構宇多野病院薬剤科)

255 プロテアーゼ阻害剤アタザナビルの HPLC による血中濃度測定法の開発

高橋昌明¹、吉田昌生¹、大木 剛¹、奥村直哉¹、
鈴木達男¹、金田次弘²

(¹国立病院機構名古屋医療センター薬剤科、²国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター)

256 PI 服用患者における毛髪内 PI 定量法の検討

築地謙治¹、根岸昌功²、長谷川直樹³、木内 英⁴、
花房秀次⁴、杉浦 互⁵、加藤真吾¹

(¹慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室、²東京都立駒込病院感染症科、³慶應義塾大学病院呼吸器内科、⁴荻窪病院血液科、⁵国立感染症研究所エイズ研究センター)

257 LC-MS/MS による AZT の細胞内薬物動態の解析

加藤真吾¹、田中理恵¹、杉浦 互²

(¹慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室、²国立感染症研究所エイズ研究センター)

258 EFV 血中濃度とチトクロム P 450 2 B 6 の遺伝子多型についての検討

土屋亮人¹、瀧永博之¹、立川夏夫¹、照屋勝治¹、
菊池 嘉¹、吉野宗宏²、栞原 健³、白阪琢磨⁴、
木村 哲¹、岡 慎一¹

(国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター、²独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤科、³独立行政法人 国立病院機構 宇多野病院 薬剤科、⁴独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療センター)

■日時：12月11日（土）11：40～12：30

■会場：第5会場（10階 会議室 1001-2）

早期診断

座長：菊池 嘉（国立国際医療センター病院エイズ治療・研究開発センター）

259 日本人 MSM における HIV 感染判明の経緯と判明前の HIV 関連症状について

高野 操¹、池田和子²、島田 恵²、大金美和²、岡 慎一²、木村 哲²

（筑波大学大学院 人間総合科学研究科 社会環境医学専攻、²国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

260 『患者が HIV 診断に至るまでのプライマリ・ケア的考察』；narrative based medicine を含む当院初診患者の解析

本田美和子、福島篤仁、阿部泰尚、横田恭子、恩田順子、原田壮平、上田晃弘、矢崎博久、田沼順子、瀧永博之、源河いくみ、照屋勝治、立川夏夫、菊池 嘉、岡 慎一、木村 哲

（国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

261 シェーグレン症候群の経過中にサイトメガロ網膜炎発症より HIV 感染症が判明した 1 例

上田敦久¹、白井 輝²、岳野光洋¹、安達理恵¹、松山奈央¹、小田みどり¹、長岡章平³、石ヶ坪良明¹

（¹横浜市立大学付属病院、²横浜市民総合医療センター、³横浜南共済病院）

262 脊髄後索障害を初発症状とし MRI で広範な脊髄病変を認めた HIV 関連脊髄症の一例

四本美保子

（長野赤十字病院）

263 首都圏の結核診療機関での結核患者に対する HIV 抗体検査の実施状況

山崎明美¹、野内英樹²

（¹財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント、²財団法人結核予防会結核研究所）

■日時：12月11日（土）9：00～10：00

■会場：第6会場（9階 会議室 910）

治療開発 2

座長：原田信志（熊本大学医学部感染防御学講座）
星野洪郎（群馬大学大学院医学系研究科分子予防医学）

264 CCR 5 阻害剤 AK 602 と CXCR 4 阻害剤併用の相乗的抗 HIV 活性

中田浩智¹、こう康博¹、前田賢次¹、高岡義和²、玉村啓和³、藤井信孝³、満屋裕明¹

（熊本大学医学部免疫病態学・第二内科、²小野薬品工業水無瀬総合研究所、³京都大学大学院薬学研究科）

265 HIV-1 DIS 領域を標的とした shRNA によるウイルス複製阻害効果

山口和也¹、黒崎直子²、大成亜季¹、米田和弘¹、権代拓麻¹、高久 洋²

（¹千葉工業大学工学部生命環境科学科、²千葉工業大学ハイテクリサーチセンター）

266 siRNA 発現ベクターの導入による HIV-1 env 遺伝子の発現抑制

早船正哲¹、黒崎直子²、朴 偉成³、山本知佳²、高久 洋²

（¹千葉工業大学工学部工学専攻、²千葉工業大学工学部 生命環境科学科、³東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター）

267 新規化合物カルバゾール誘導体による HIV-1 インテグラーゼ活性抑制機序の解析

巖 馬華¹、千葉智子¹、三浦秀佳¹、西澤雅子¹、野村伸彦²、北村義浩³、山本直樹¹、杉浦 亙¹

（¹国立感染症研究所エイズ研究センター、²（株）富山化学工業、³東京大学医科学研究所）

268 Enhanced inhibition efficacy on HIV-1 replication by decoy TAR and vif siRNAs expressed as a single RNA molecule in lentiviral-transduced cells

J.S.Barnor¹, N.Kurosaki², Y.Abumi¹, H.shiina¹, K.Yamaguchi¹, K.Ishikawa³, N.Yamamoto⁵, M.Osei-Kwasi⁴, D.Ofori-Adjei⁴, H.Takaku²

（¹Department of Life and Environmental Science, Chiba Institute of Technology,

Japan, ²High Technology Research Center, Chiba Institute of Technology, Japan, ³National Institute of Infectious Diseases, AIDS Research Center, Japan, ⁴Noguchi Memorial Institute for Medical Research, Department of Virology, Ghana, ⁵Tokyo Medical and Dental University, Japan)

269 HIV-1 変異株の利用する coreceptor, GPR 1, のアミノ末端側合成ペプチドによる多様な HIV-1 株の感染抑制

大上厚志、清水宣明、田中 淳、大槻貴博、星野洪郎

(群馬大学大学院医学系研究科 分子予防医学)

■日時：12月11日(土) 10:00~10:50

■会場：第6会場(9階 会議室 910)

検査 1

座長：加藤真吾(慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室)

270 Analysis of Human Immunodeficiency Virus Type 1 Integration by Use of a Specific, Sensitive and Quantitative Assay Based on Real-Time Polymerase Chain Reaction

山本典生¹、田中知香²、呉 玉楓¹、Chang Myint Oo¹、稲垣好雄¹、山本直樹¹
(¹東京医科歯科大学 大学院 ウイルス制御学講座、²順天堂大学 医学部 総合診療科)

271 逆転写酵素活性高感度測定法(Real-Time Amp-RT Assay)の開発

仲宗根正¹、高松純樹²、山本伸三³、Heneine Walid⁴、山本直樹¹
(¹国立感染症研究所・エイズ研究センター、²名古屋大学医学部附属病院・輸血部、³西日本病院・皮膚科、⁴米国 CDC・レトロウイルス部門)

272 Loop-Mediated Isothermal Amplification (LAMP)法を用いた HIV-1 RNA の検出

優秀
保坂憲光¹、Nicaise Ndembu²、景山誠二²、市村 宏²
(¹栄研化学株式会社生物化学研究所、²金沢大学大学院医学系研究科ウイルス感染症制御学講座)

273 種々の感染病態における末梢 CD 4 陽性 T リン

パ球菌内の HIV-1 DNA レベル

永井裕美¹、和田かおる¹、照沼 裕³、水野善文¹、多和田行男²、間宮均人¹、内海 眞¹、濱口元洋¹、とう学文³、伊藤正彦³、西山幸廣⁴、金田次弘¹
(¹国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター、²国立病院機構 名古屋医療センター 研究検査科、³山梨大学医学部、⁴名古屋大学医学部)

274 LTR, gag, pol 領域を用いた HIV-1 プロウイルス定量法に関する検討

向出雅一¹、加藤真吾²、田中理恵²、近藤真規子³、嶋 貴子³、須藤弘二³、武部 豊⁴、今井光信³
(¹株式会社エスアールエル、²慶應義塾大学、³神奈川県衛生研究所、⁴国立感染症研究所)

■日時：12月11日(土) 10:50~11:30

■会場：第6会場(9階 会議室 910)

検査 2

座長：山崎あけみ(静岡県立総合病院臨床検査科)

275 HIV RNA 測定キット COBAS TaqMan HIV-1 Test「マニュアル」の基礎的検討

須藤弘二¹、嶋 貴子²、近藤真規子²、古谷茂之³、瀬尾麻美³、加藤真吾⁴、今井光信²
(¹神奈川県衛生研究所微生物部、エイズ予防財団リサーチレジデント、²神奈川県衛生研究所微生物部、³ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社、⁴慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室)

276 リアルタイム PCR 法による HIV-1 RNA 定量キット COBAS TaqMan HIV-1 Test(High Pure System)の検討

菊池 嘉¹、福武勝幸²、天野景裕²、白阪琢磨³、山本善彦³、今井光信⁴、近藤真規子⁴、林 邦彦⁵、古谷茂之⁵、木村 哲¹、岡 慎一¹
(¹国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター、²東京医科大学 臨床検査医学講座、³国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター、⁴神奈川県衛生研究所 微生物部、⁵ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社)

277 CD 4 陽性細胞数測定に関する検討(第2報)

小川 哲¹、正兼亜季²、上野朱美¹、辻 典子²、

山田三枝子²、上田幹夫¹
 (¹石川県立中央病院、²財団法人エイズ予防財団
 (石川県立中央病院))

- 278 HIV 感染症における CD 38 抗原量測定 の検討**
 塚本道子¹、伊藤敬子¹、三間屋純一²
 (¹静岡県立こども病院臨床病理科、²静岡県立こども病院血液腫瘍科)

■日時：12月11日(土) 11:30~12:00
 ■会場：第6会場(9階 会議室 910)

検査 3/インフルエンザ

座長：堀越泰雄(静岡県立こども病院血液腫瘍科)

- 279 MSG(major surface glycoprotein)gene を用いた Real-time PCR 法による Pneumocystis jirovecii 迅速定量法の確立**
 小柏 均¹、永井裕美²、水野善文²、堀 洋美¹、加藤 稔¹、多和田行男¹、玉村和栄¹、間宮均人³、濱口元洋⁴、金田次弘²
 (¹国立病院機構 名古屋医療センター 研究検査科、²国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター、³国立病院機構 名古屋医療センター 総合内科、⁴国立病院機構 名古屋医療センター 血液内科)

- 280 HIV 患者におけるインフルエンザワクチン接種後 1 年の抗体価の検討**
 山中ひかる、照屋勝治、田中真理、本田美和子、瀧永博之、源河いくみ、立川夏夫、菊池 嘉、平林義弘、岡 慎一、木村 哲
 (国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター)

- 281 HIV 感染者におけるインフルエンザワクチン接種効果の検討**
 菅沼明彦¹、今村顕史¹、味澤 篤¹、根岸昌功¹、高山直秀²、貞升健志³、新開敬行³
 (¹東京都立駒込病院感染症科、²東京都立駒込病院小児科、³東京都健康安全研究センター)

■日時：12月11日(土) 13:50~14:30
 ■会場：第6会場(9階 会議室 910)

在日外国人

座長：沢田貴志(神奈川県勤労者医療生活協同組合 港町診療所)

- 282 当院における外国人 HIV 感染者の検討**
 矢島悟子、三浦琢磨、葛西俊二、小池順子、飯沼裕子、関沢真人
 (芳賀赤十字病院 HIV 感染症研究会)
- 283 横浜市立市民病院における外国人 HIV/AIDS 診療の現状**
 足立拓也、相楽裕子
 (横浜市立市民病院感染症部)

- 284 在日ブラジル人コミュニティにおける HIV/STD 関連知識、行動に関する調査**
 Iwaki Elisa¹、津島真利絵¹、浜田エミリア¹、栄ロレイサ¹、木原雅子²、木原正博²
 (¹CRIATIVOS-HIV-STD 関連支援センター、²京都大学大学院医学研究科国際保健講座)

- 285 HIV 陽性 在日ラテンアメリカ人のセクシュアリティ：disembodiment と embodiment**
 Castro-Vazquez Genaro¹、樽井正義¹
 (¹HIV 陽性 在日ラテンアメリカ人のセクシュアリティ：disembodiment と embodiment、²慶応義塾大学文学部、³慶応義塾大学文学部)

■日時：12月11日(土) 14:30~15:20
 ■会場：第6会場(9階 会議室 910)

NGO/CBO

座長：樽井正義(慶応義塾大学文学部)

- 286 行政機関の AIDS 対策の現状および自己評価**
 五島真理為¹、新庄文明²、白井良和³、中瀬克己⁴、塩入康史¹、木下ゆり¹、ストロネルケイトリン¹、伊藤麻里子⁵
 (¹特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター、²長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、³和歌山県福祉保健部健康局、⁴岡山市保健所、⁵財団法人エイズ予防財団)

- 287 AIDS/NGO が実施する若者相互の AIDS 啓発一全国調査の分析を通して一**

伊藤麻里子¹、五島真理為²、木下ゆり²、
ストロネルケイトリン²、阿部しのぶ²、塩入康史²、
大郷宏基²、新庄文明³、伊藤葉子⁴
(¹財団法人エイズ予防財団、²特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター、³長崎大学大学院
医歯薬学総合研究科、⁴中京大学社会学部)

288 海外プログラムの日本への導入による HIV 陽性者スピーカー育成プログラムの研究・開発

長谷川博史¹、矢島 嵩²、橋本幹雄⁶、館林 稔⁵、
山崎 圭⁷、神谷浩樹¹、藤原良次³、樽井正義⁴
(¹ジャンププラス/Japanese Network of
People living with HIV/AIDS、²特定非営利活動法人ふれいす東京、³NGO りょうちゃんず、
⁴慶応義塾大学 文学部、⁵HERATY NETWORK、⁶日本エイズ予防財団、⁷法政大学 地域
研究センター)

289 HIV 感染者・患者の QOL 向上を目的とした諸機関の連携による栄養支援のあり方

木下ゆり¹、東 祐子¹、塩入康史¹、伊藤麻里子²、
五島真理為¹、新庄文明³
(¹特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター、²(財) エイズ予防財団、³長崎大学大学院
医歯薬学総合研究科)

290 エイズと向き合う地域社会をつくる東北タイでの取り組みと NGO の役割

沢田貴志
(シェア=国際保健協力市民の会)